

Lifetime
Value Creator



LOTTE PROFILE 2024

New & Better
LOTTE



Contents

New LOTTE

- Chairman's Message 2
- Mission & Vision 6
- Symbol 7
- Governance Structure 8
- Financial Highlights 9
- Business Portfolio 10
- Global Business 12
- LOTTE History 14

Better LOTTE

- Food 18
- Retail 28
- Chemical 40
- Hotel 50
- Construction·Rental·Infra 58
- ESG Management 72

今日を新しく、明日をより良く

Change today, Create tomorrow



たゆまぬ変化と革新で 「新しいロッテ」へと成長していきます。

ロッテはこの50年間の間、食品、流通、観光、化学、建設など、様々な分野でたゆまぬ変化と革新を繰り返し、持続可能な明日を作っていく企業として成長してきました。また、海外市場を積極的に開拓し、名実共にグローバル企業としての地位も確立しました。

ロッテはグループのブランドスローガンである「今日を新しく、明日をより良く (Change today, Create tomorrow)」を基に、100年企業に向けて未来志向的な事業ポートフォリオの再編に取り組んでいます。

バイオ&ウェルネス(Bio & Wellness)分野の先導企業へと成長すべくコアコンピタンスを強化していき、既存の事業領域でもモビリティ(Mobility)、エコエネルギーといった未来の成長動力を確保するために革新を続けていきます。

また、気候変動への対応や持続可能な生態系の構築など、環境と社会に責任を果たすESG経営を積極的に実践していきます。お客様の暮らしとそれを取り巻く環境を改善するために、すべての意思決定で善良な価値を考慮し、お客様やパートナー企業、さらには社会から愛され、信頼されるロッテになります。

ロッテが切り開く新しい未来に温かいご声援をお願い致します。

A handwritten signature in black ink, reading "Shin Dongbin". The signature is fluid and cursive, written in a professional style.

会長 辛東彬(シン・ドンビン)

ロッテらしく 新しく 変化を超えて 革新へ

ロッテは新しいHQ体制を基盤に
社会と共にするESG経営を強化し、
世界各地にグローバル進出を拡大しながら、
たゆまぬ挑戦と革新を続けていきます。

New LOTTE

- Mission & Vision 6
- Symbol 7
- Governance Structure 8
- Financial Highlights 9
- Business Portfolio 10
- Global Business 12
- LOTTE History 14

MISSION & VISION

MISSION

私たちは皆様から愛され、信頼される、よりよい製品やサービスを提供し、世界中の人々の豊かな暮らしに貢献します。

We enrich people's lives by providing superior products and services that our customers love and trust.

VISION

Lifetime Value Creator

MANAGEMENT PRINCIPLES



透明性の高い経営
Transparent
management



コアコンピタンスの強化
Strengthening
core competencies



価値創造経営
Value-based
management



現場経営
On-site
management

SYMBOL

CI CONCEPT



ロッテグループのCIはLifetime Value Creatorのビジョンを盛り込んで、人生のあらゆる瞬間に常に新しい価値を提供するという約束です。

VALUE LINE



Value Lineを囲んでいる丸い菱形のフレームは、ロッテワールドタワーのベース形態から始まっており、簡潔なLはロッテの謙遜さ、力動性と独創性を表現しています。



Lifetime Value Creatorの略であるL、V、Cと読まれる形で、Dotはお客様の人生の始まりを意味し、Lineはロッテグループと共に歩む人生を表現しています。

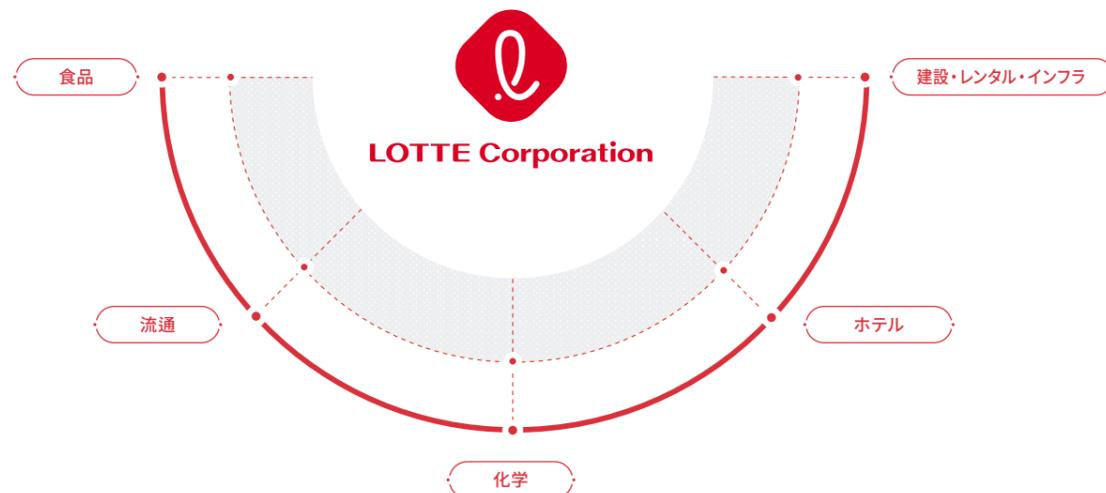
GOVERNANCE STRUCTURE

ロッテ持ち株株式会社は、より透明性の高い経営とグループの質的成長を実現します。

ロッテグループは2017年、経営透明性の確保と持続可能な質的成長を実現するために、ロッテ持株を設立して、持株会社へ体制を移行しました。先進の支配構造を確立することで、事業と投資部門間のリスクを分離し、経営の効率性を一層高めることができました。ロッテ持株は設立以来、子会社の成長性と収益性の向上、ビジネスポートフォリオの高度化、中長期的な戦略の樹立、ブランドと研究開発の投資拡大、ESGガバナンス体制の強化など、様々な努力を通じてロッテグループの企業価値とブランド価値を高めるため最善を尽くしています。

2021年末にはHQ体制の改編によって、産業群の細分化、インフラ事業とのシナジー、ビジネスポートフォリオの高度化などを達成すると期待しています。HQ体制の導入で各グループ会社の責任経営が強化されるにつれ、ロッテ持株は新たな成長動力の発掘と育成、核心人材の養成と組織文化の改編、ESG経営の拡大など、持株本来の業務にさらに集中しながらロッテグループの新しい未来を準備しています。

ロッテグループ構成



持続可能な成長に向けた
事業ポートフォリオの高度化を支援

不動産など
保有資産の効率化

海外の事業展開・
拡大をサポート

FINANCIAL HIGHLIGHTS

ロッテは毎年、安定的かつ持続的な成長を続けています。

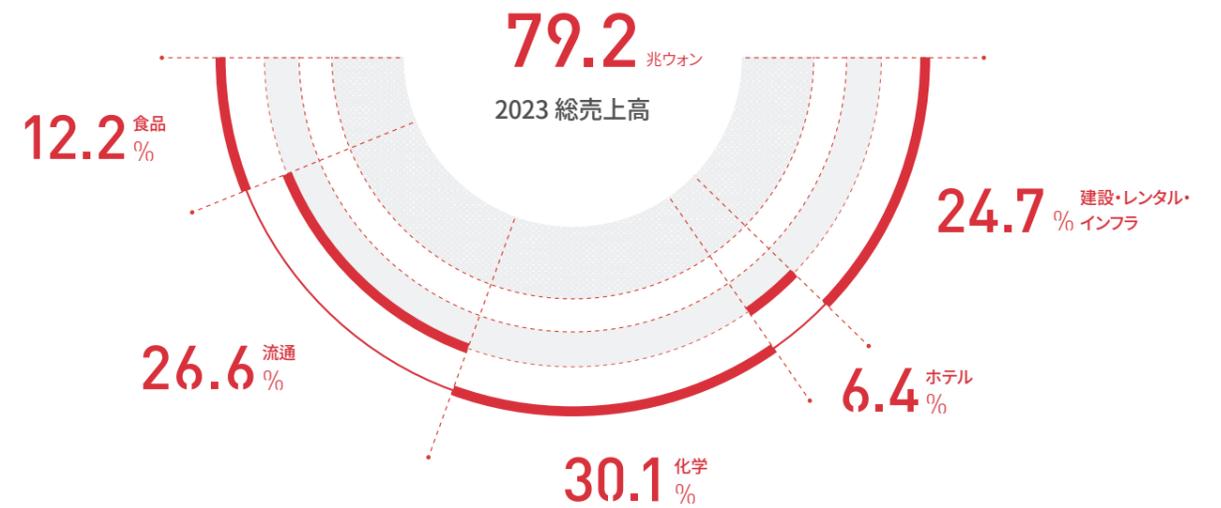
2023年財務状況

資産	負債比率	系列会社数
129.8 兆ウォン	125.8 %	96 社

* Source: 公正取引委員会 (2024年5月発表)

* 資産総額基準

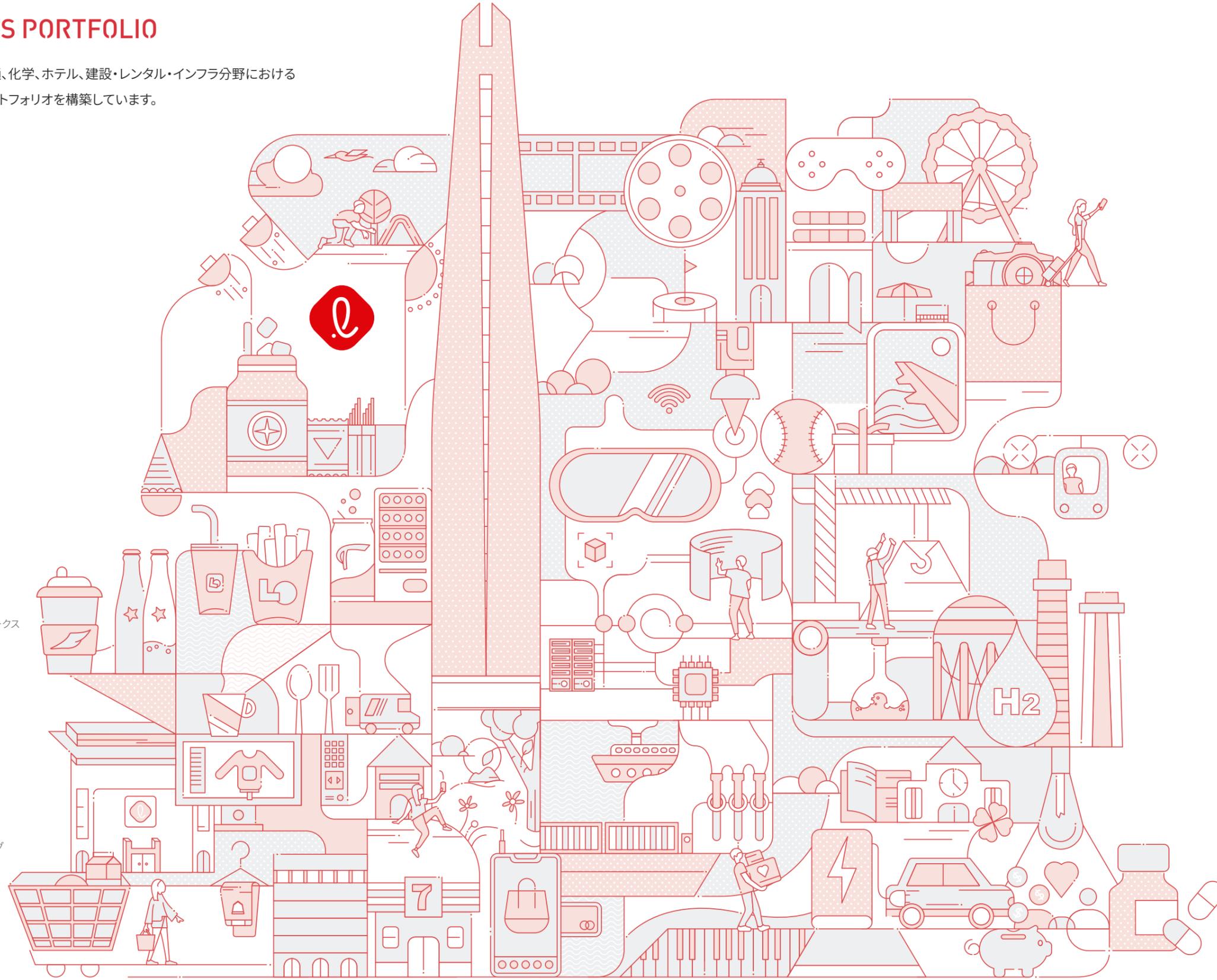
2023年事業群別売上高割合



* 2017年から従来の管理会計ではなく財務会計を基準に総売上高を表記

BUSINESS PORTFOLIO

ロッテは食品、流通、化学、ホテル、建設・レンタル・インフラ分野における
成功な事業ポートフォリオを構築しています。



食品

- ロッテウェルフード
- ロッテ七星飲料
- LOTTE GRS
- ロッテ中央研究所
- ロッテアサヒ酒類
- LOTTE-Nestlé(Korea)
- ロッテビーブルネットワークス
- ロッテ商社

流通

- ロッテ百貨店
- ロッテマート
- ロッテスーパー
- ロッテeコマース
- ロッテホームショッピング
- コリアセブン
- ロッテハイマート
- ロッテGFR
- エフアールエルコリア
- 韓国エステーエル
- ロッテメンバーズ

化学

- LOTTE Chemical
- ロッテ精密化学
- ロッテINEOS化学
- LOTTE MCC
- LOTTE Chemical Titan
- LOTTE Chemical USA
- ロッテGS化学
- ロッテアルミニウム
- ロッテエナジーマテリアルズ

ホテル

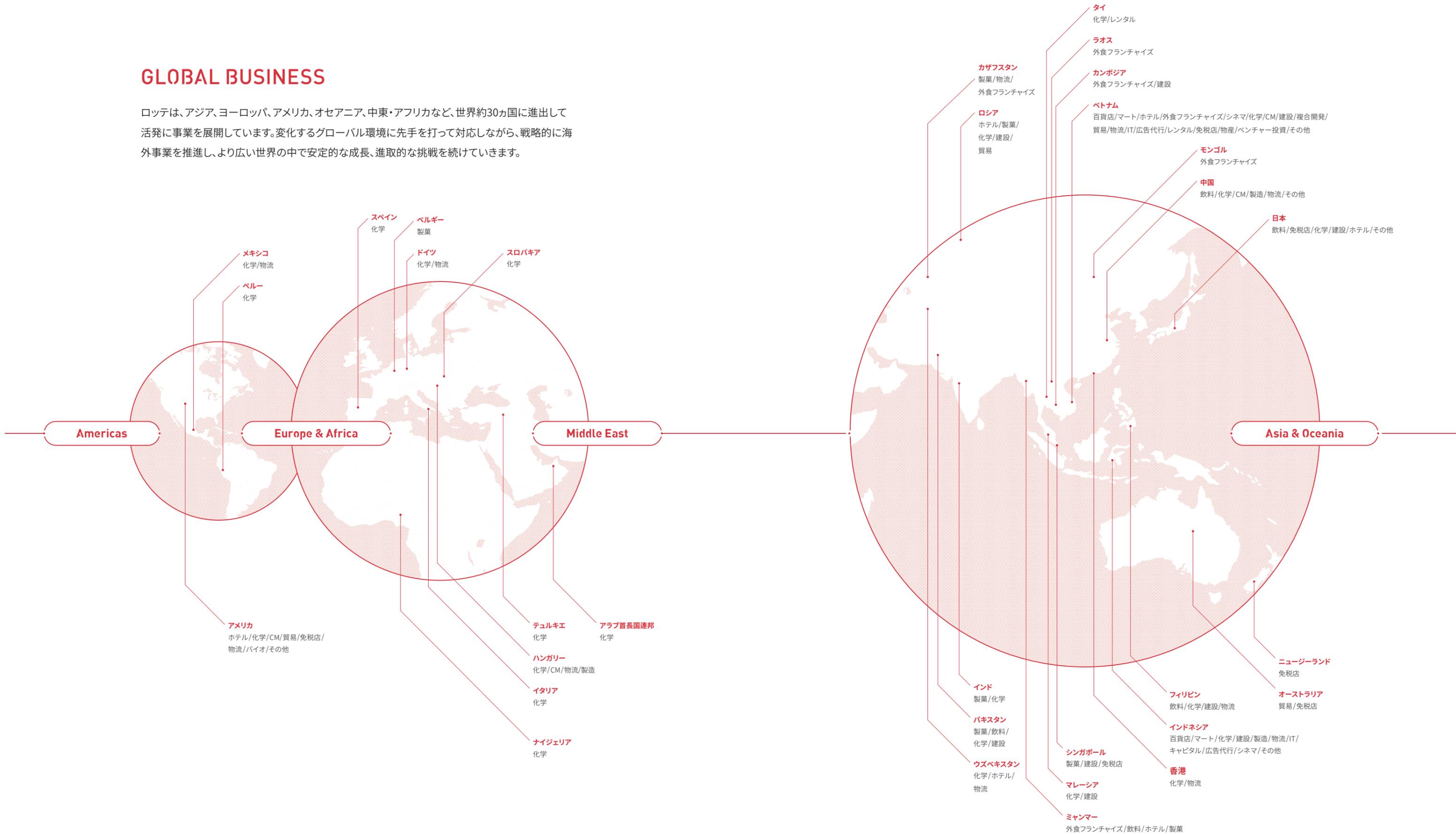
- ロッテホテル&リゾート
- ロッテ免税店
- ロッテワールド
- ロッテジェイティービー

建設・レンタル・インフラなど

- | | |
|--------------|------------|
| ロッテ建設 | 大弘企画 |
| ロッテ建設CM事業本部 | キヤノンコリア |
| ロッテ物産 | 韓国富士フィルム |
| ロッテrental | ロッテAMC |
| ロッテグローバルロジス | ロッテジャイアンツ |
| ロッテイノベート | ロッテ未来戦略研究所 |
| ロッテバイオリジクス | ロッテ奨学財団 |
| ロッテベンチャーズ | ロッテ福祉財団 |
| ロッテキャピタル | ロッテ三同福祉財団 |
| ロッテカルチャーワークス | ロッテ文化財団 |

GLOBAL BUSINESS

ロッテは、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア、中東・アフリカなど、世界約30カ国に進出して活発に事業を展開しています。変化するグローバル環境に先手を打って対応しながら、戦略的に海外事業を推進し、より広い世界の中で安定的な成長、進取的な挑戦を続けていきます。

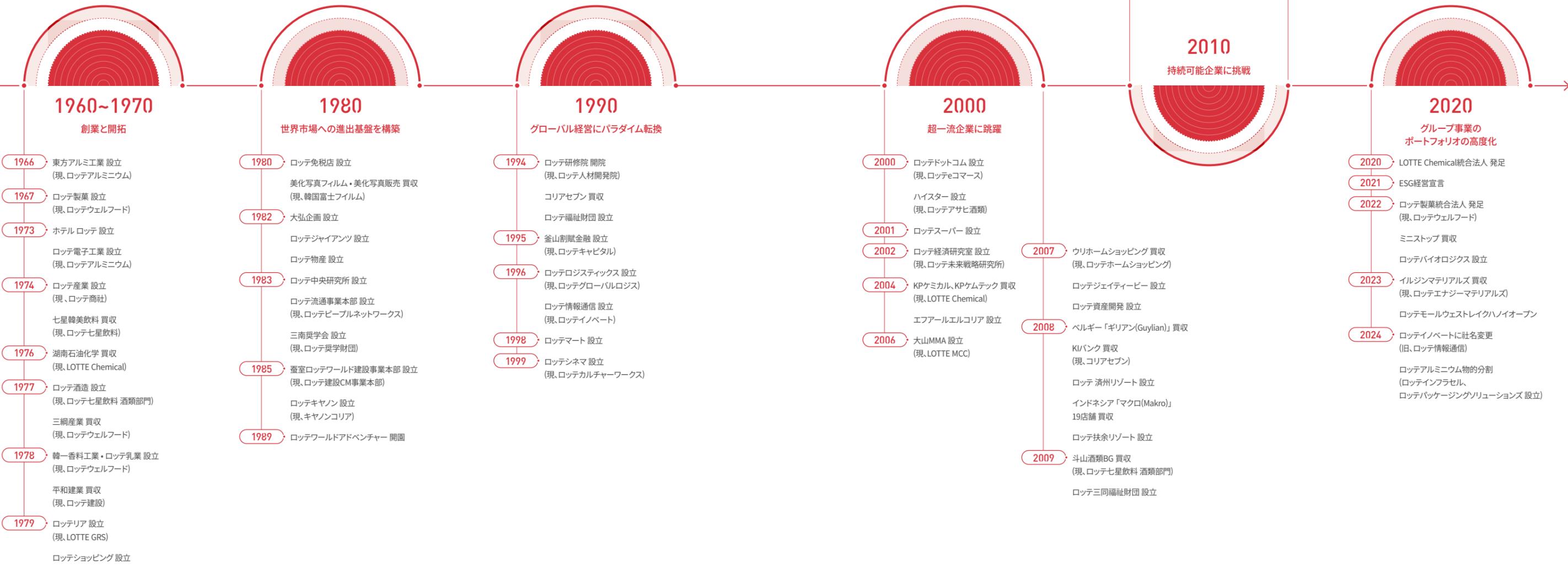


LOTTE HISTORY

100年企業の遠大な未来を夢見て、
今日を新しく、明日をより良くしていきます。

ロッテグループの歴史は1967年、ロッテ製菓(現、ロッテウェルフード)の設立から始まりました。食品から流通、化学、ホテル、建設、レンタル、インフラなど多様な産業に事業を拡大し、韓国を代表するグローバル企業に成長しました。50年以上にわたり変わらない情熱で力量を強化して成果を上げてきた間、顧客からはもっと愛され、世界からの信頼はさらに深まりました。人類の暮らしに価値を加え、地球の明日を健康なものに育てる企業を目指して、ロッテグループは絶えず挑戦と革新を重ね、もう一つの偉大な歴史を作っていきます。

- 2010 Buy the way 買収 (現、コリアセブン)
フィリピン「ペプシ (PCPPI)」買収
パキスタン「コルソン (Kolson)」買収
マレーシア「タイタンケミカル (Titan Chemical)」買収 (現、LOTTE Chemical Titan)
- 2011 現代情報技術 買収 (現、ロッティノベート 合併)
バスツール乳業 買収 (現、ロッテウェルフード)
- 2012 ハイマート 買収 (現、ロッテハイマート)
LOHB's (ロプス) 設立
- 2013 カザフスタン「ラハト (Rakhat)」買収
- 2014 LOTTE-Nestlé(Korea) 設立
現代ロジスティックス 買収 (現、ロッテグローバルロジス)
- 2015 ロッテメンバーズ 設立
KTレンタル 買収 (現、ロッテrental)
ロッテ文化財団 設立
- 2016 サムスンSDIケミカル事業本部、サムスン精密化学、サムスンBP化学 買収 (現、LOTTE Chemical、ロッテ精密化学、ロッテINEOS化学)
ロッテアクセラレータ 設立 (現、ロッテベンチャーズ)
- 2017 ロッテグループ創立50周年、ニュービジョン宣言
ロッテ持ち株株式会社 設立
インド「ハブモア(Havmor)」買収
- 2018 ロッテカルチャーワークス 設立
ロッテeコマース 設立
- 2019 ロッテグローバルロジス統合法人 発足



ロッテらしく
より良く

成長を超えて
持続可能に

ロッテは様々な事業で蓄積した
コアコンピタンスとグローバル競争力を基に
未来の新たな成長動力をさらに強化して
持続可能な成長を遂げていきます。

Better LOTTE

Food 18
Retail 28
Chemical 40
Hotel 50
Construction·Rental·Infra 58
ESG Management 72



New Tastes
Better Health

FOOD

新しい食文化を
創造して食品産業を
リードします。

ロッテの食品部門は、1967年創業した
ロッテ製菓(現、ロッテウェルフード)から始まり、
製菓および飲料、酒類、食品素材および加工食品、
そして外食まで網羅する韓国最大の食品企業群として
成長しました。ロッテウェルフードを始めとするロッテの
食品系列会社は、優れた技術と品質、マーケティング力を発揮し、
食品産業をリードしています。また、差別化された
ブランド戦略、様々な外食フランチャイズの開発、
国際レベルの食品研究と安全・衛生管理により
新しい食文化を創造しています。
特に2022年、ロッテウェルフードはロッテ製菓と
ロッテフードの統合によって総合食品企業として生まれ変わり、
確固たる未来成長の基盤を構築しました。

- **ロッテウェルフード**
 - スナック開発の集中育成
 - ヴィーガン・培養肉・食用昆虫など、代替食品群の事業拡大
 - HMRブランド(Chefood)競争力の強化
 - 高齢者ケアフードの開発
- **LOTTE GRS**
 - ハンバーガー事業のコアコンピタンスの強化
 - 代表製品の品質向上
 - IT活用の顧客管理/サービスシステムの効率化



Global Food Company

- ロッテウェルフード
- ロッテ七星飲料
- LOTTE GRS
- ロッテ中央研究所
- ロッテアサヒ酒類
- LOTTE-Nestlé(Korea)
- ロッテビーブルネットワークス
- ロッテ商社

- **ロッテ七星飲料**
 - Value Chainプロセスの最適化
 - デジタル基盤のスマートファクトリー、CDC/RDC、RTM、RGMの構築&高度化
- **ロッテ中央研究所**
 - バイオ&ウェルネスの製品開発
 - 健康機能食および健康志向食の製品、カロリー/糖類の低減製品、代替肉など

主要事業海外進出状況



- **ロッテウェルフード**
ミャンマー、シンガポール、インド、パキスタン、カザフスタン、ロシア、ベルギー
- **ロッテ七星飲料**
中国、日本、アメリカ、フィリピン、ミャンマー、パキスタン
- **LOTTE GRS**
ロッテリア
ミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナム、モンゴル
エンジェリナスコービー
カザフスタン
- **ロッテ商社**
オーストラリア、ロシア、ベトナム、アメリカ

We create
great food for
healthier
lives



果敢な挑戦で
食品産業の未来を切り開いていきます。

ロッテ食品部門は世界各地で顧客の生活をより美味しく、楽しくします。ロッテウェルフードはアジアやヨーロッパなど世界の各国に現地生産施設を備えて様々な製品を供給しており、ロッテ七星飲料はデジタル基盤の自動化設備と効率的なシステムで生産した飲料や酒類を世界中に輸出しています。LOTTE GRSはアジアを中心にマスターフランチャイズ事業のパートナーとして活躍しており、海外店舗を拡大しています。今後もメガブランドの育成、フードテックを活用した健康食品・代替肉など新製品の開発を積極的に進めるとともに、バリューチェーンの高度化、成長インフラの構築に力を注ぎ、世界で愛されるグローバル食品ブランドに跳躍していきます。

Food Technology



**ロッテ中央研究所、
未来食品開発**
国際レベルのフードテック能力をベースに、プラントベースフードやケアフードといったバイオ&ウェルネス食品の開発に取り組んでいます。



**ロッテ七星飲料、
スマートファクトリーの構築**
デジタル基盤の自動化設備を適用したスマートファクトリーを構築し、高品質の飲料や酒類を生産します。



**LOTTE GRS、
ロッテリアスマートストア(L7ホテル弘大店)**
非対面時代に合わせて無人注文機を導入したスマートストアを運営し、顧客に差別化された体験を提供しています。

**ロッテウェルフード、
ホームミールリプレイスメント(HMR)製品の強化**
様々なホームミールリプレイスメントを発売し、定期購読サービスの「月刊食膳」を開始するなど、食品トレンドをリードしていきます。

www.
lottewellfood.
co.kr

ロッテウェルフード

主要事業

お菓子、氷菓類、ガム、肉加工、乳加工、
ホームミールリプレースメント類

1967年に創業したロッテウェルフードは、ロッテの親会社であり、韓国の食品産業の発展を導いてきた製菓業界不動の第1位企業です。2022年7月1日、ロッテ製菓とロッテフードは一つの会社に統合し、新しく発足することで、総合食品企業として生まれ変わり、2023年4月1日にはロッテウェルフードに社名を変更しました。両社の統合により、乳幼児から中高年齢まで全年齢層の顧客を対象にするライフサイクル型ブランドを運営し、競争力をさらに強化することができました。現在、永登浦工場をはじめ、韓国の17カ所に最先端の生産設備を備えており、ガム、チョコレート、ビスケットなどのお菓子類や氷菓類、肉加工、乳加工、ホームミールリプレースメント類などを生産、供給しています。

ロッテ製品の多くは業界売上高のトップを維持しており、「キシリトールガム」、「パスツール」、「ペペロ」、「コッカルコーン」、「ワールドコーン」、「テジパー」、「義城ニンニクハム」、「シェフード」など各カテゴリーにおける売上高のトップブランドを多数保有しています。特にガム、チョコレート部門においては優れた原料および製造技術により、韓国内外で世界最高品質が認められ、市場をリードする代表製品です。海外進出も活発に行っており、カザフスタン、パキスタン、ベルギー、インド、ロシア、シンガポール、ミャンマーなど世界7カ国で計21カ所の生産工場を運営し、現地の顧客に美味しく多様な製品を提供しています。これからもフードテックをリードするグローバル食品企業に跳躍するために、メガブランドの育成や健康食品・代替肉などの革新技術を開発するとともに、海外事業の力量を持続的に強化していきます。

17 21

韓国内工場数
(2024年4月基準)

海外工場数
(2024年4月基準)

Mega Brand

グローバルメガブランドの強化

「ガーナ」、「ペペロ」、「キシリトールガム」、「ソルレイム」、「ワールドコーン」など市場をリードするグローバルメガブランドの育成



1
ロッテウェルフード
永登浦
キシリトールガム生産ライン

2
ロッテウェルフード
ガーナチョコレート

3
ロッテウェルフード
シェフード製品



No.1

韓国内で氷菓類の
市場占有率、第1位

company.
lottechilsung.
co.kr

ロッテ七星飲料

主要事業

飲料および酒類製品の製造、販売

ロッテ七星飲料は1950年の設立以来、70年以上にわたり韓国トップクラスの総合飲料企業として愛されており、海外事業を持続的に拡大してグローバル企業に跳躍しています。飲料部門は、韓国に6カ所の生産工場および1,000個以上の流通ネットワークを備えており、「七星サイダー」、「レッツピー」、「カンタータ」、「ミルクス」、「アイス8.0」、「トレビ」などのブランドを運営しています。また、「七星サイダーゼロ」、「タムスゼロ」、「ホットシックス ザ・キングゼロ」など、カロリーの負担なく楽しめる飲み物を相次いで発売し、市場をリードしています。酒類部門では韓国に5カ所の生産工場を保有し、「チョウムチョロム」、「セロ」、「クラウド」、「クラッシュ」、「マジュアン」、「スコッチブルー」などの酒類製品を製造、販売しています。また、ロッテ七星飲料は韓国内市場を越え海外市場へと進出しています。既に進出した国では、新規チャンネルの拡大とマーケティング活動によって競争力を強化し、そして、これから進出する国に対しても、地域別特性と消費者ニーズに合わせた製品を武器に開拓していくことで、海外売上規模を持続的に成長させています。



63

飲料の海外輸出国数
(2024年3月基準)

48

酒類の海外輸出国数
(2024年3月基準)

1
ロッテ七星飲料
安城トレビ生産ライン

2
ミルクス
海外輸出製品

www.
lottegrs.
com

LOTTE GRS

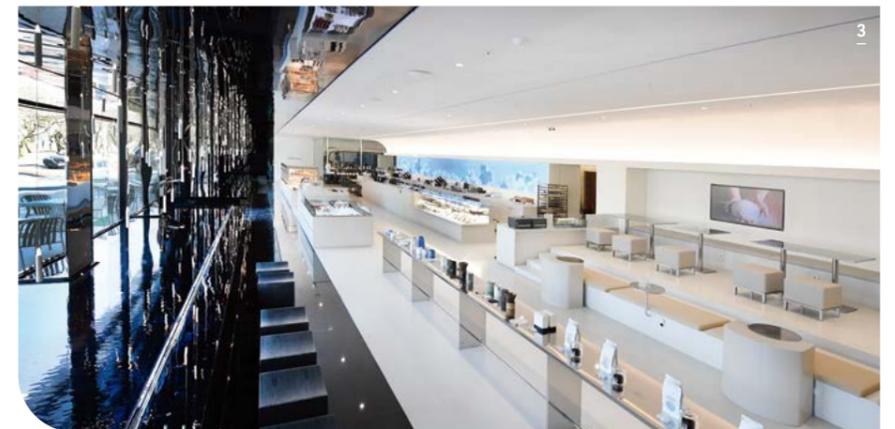
主要事業

卸・小売およびフランチャイズ

LOTTE GRSは「LOTTE Global Restaurant Service」の略語で、1979年に韓国初のファーストフード店<ロッテテリア>をオープンして以来、韓国のフランチャイズ産業の発展を牽引してきました。優れた品質の商品、清潔な店舗環境、迅速なサービスの実現など、顧客満足度を最高の価値として追求して努力を重ね、変化し続けています。韓国内外食産業を主導してきたLOTTE GRSは、韓国内市場シェアと売上を拡大しつつ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、カザフスタン、ラオスなどに進出し、アジアの人々を魅了しています。多重利用施設の飲食事業場運営委託事業であるコンセッション事業も活発に展開しています。5つ以上のメガブランドを運営する外食フランチャイズおよびプラットフォーム事業者として、今後も社会的価値を高める企業をめざします。

313

海外店舗数
(2024年3月基準)



3
エンジェルナス
大邱アイランド店

4
ロッテテリア
ベトナムのチャンフンダオ(Tran Hung Dao)店

No.1

ベトナムグローバルフランチャイズ
店舗占有率、第1位
(2024年6月基準)

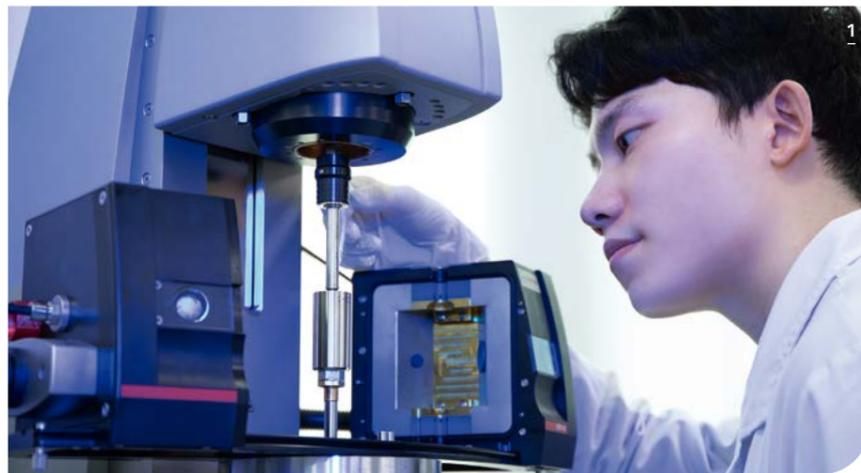
www.
lotternd.
com

ロッテ中央研究所

主要事業

食品・新素材・パッケージの研究開発、食品安全管理

ロッテ中央研究所は、最新の研究設備と優れた食品の専門家を保有している韓国最高の総合食品研究所です。1983年からロッテ食品部門の発展に寄与しており、創立40周年を迎え、食品・バイオ融合研究所、グローバル食品研究のハブとして発展しています。最近是新製品の開発をはじめ、独自の素材開発やバイオ研究にもさらに力を入れています。エコパッケージ、天然の代替食品素材を開発し、消費者にバイオ&ウェルネスならではの特別な経験を提供しており、スマート安全管理システムや科学的根拠に基づき厳格な食品安全管理を行っています。また、ベトナム、インドネシアで海外研究所を運営し、韓国技術の海外移転と現地化支援に取り組んでいます。今後もロッテの食品部門が続いて愛されるよう、基礎研究から製品開発、流通まで全サイクルを担うグローバル食品研究所に向けて取り組みます。



2

海外研究所数
(ベトナム、インドネシア)

1
フードラボ
研究開発の姿

2
ロッテ中央研究所
麻谷

www.
nescafe.
co.kr

LOTTE-Nestlé(Korea)

主要事業

コーヒー製造加工および販売

LOTTE-Nestlé(Korea)は2014年に、ロッテと世界最大の食品企業であるネスレが合併し設立して以来、高品質のコーヒーを韓国内外に安定的に供給してきました。忠清北道の清州に大規模な生産設備を備え、世界的コーヒーブランド「ネスカフェ」をはじめ、「ネスクウィク」、「ネスティ」など、様々な飲料製品とペットフードの「ピュリナ」を製造・販売しています。ロッテとネスレの両社の長所を最大限に活かし、顧客が満足できる最高の製品を継続的に提供していきます。

www.
lotteintl.
com

ロッテ商社

主要事業

グローバル食糧資源の開発およびトレーディング

1974年に設立されたロッテ商社は、アメリカ、ベトナム、オーストラリア、ロシアなどに構築したグローバルネットワークと海外生産基地を基盤に様々な製品を生産、輸入・輸出を通じて韓国内外の顧客に届けています。オーストラリアの自社運営の牧場で直接牛を飼育して、グループの流通会社および顧客が安心して食べられる牛肉を提供しています。また、ロシアの沿海州農場では豆やトウモロコシ、麦などを栽培しており、未来食糧資源を確保するための取り組みを先立って実施しています。これからも持続的に海外生産基地を確保し、食料事業のスケールアップを通じて、食糧資源の開発と交易分野でグローバル先導企業になります。

www.
asahibeerk.
com

ロッテアサヒ酒類

主要事業

輸入酒類卸売

2000年に「ハイスター」という名称で始まったロッテアサヒ酒類は、2004年に社名を変更し、新たな出発を遂げ、現在はビール、日本酒、およびその他の酒類の輸入・販売を専門とする輸入酒類流通専門企業としての知名度を高めています。すっきり洗練された味で愛されている「アサヒビール」は、韓国内の輸入ビール市場でたくさんの支持を得ています。また、「白鶴」、「黄桜」、「神戸酒心館」などの日本の有名酒造社により製造された日本酒は多様化する顧客のニーズに応え、人気を博しています。そして、手軽に楽しめるRTDのワインクルーザーも販売し顧客の多様な好みに応えています。これからも優秀製品の導入や積極的なマーケティングを通じて市場を持続的に拡大し、韓国内の酒類業界をリードする総合酒類会社に跳躍していきます。

www.
lottelmsc.
com

ロッテピープルネットワークス

主要事業

販売促進の人材供給および統合サービス

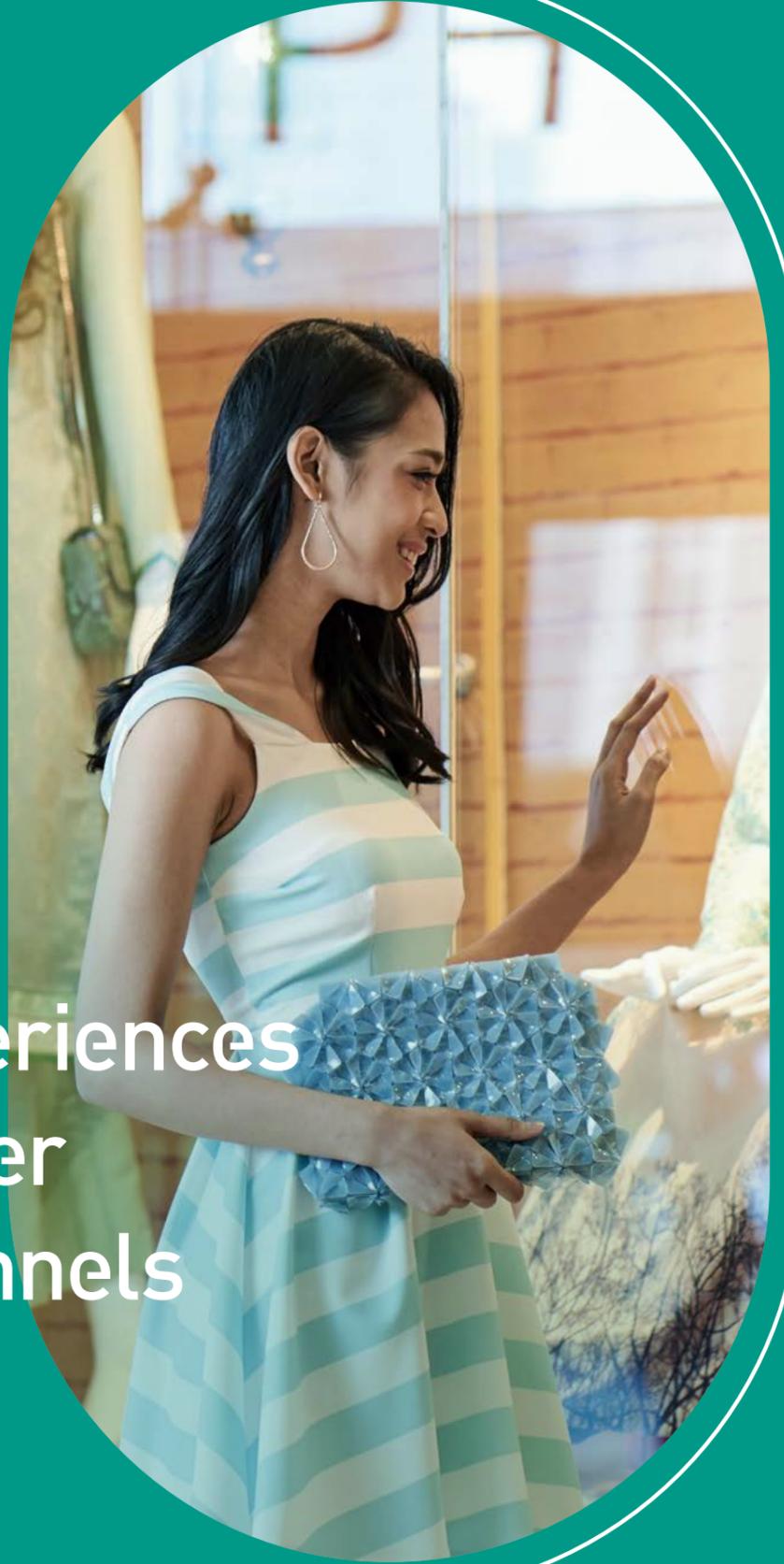
1983年に韓国初の販売促進サービス専門組織のロッテ流通事業本部として発足したロッテピープルネットワークスは、ロッテ食品部門の成長に寄与してきました。体系的な教育を受けた専門人材は韓国の流通店舗においての商品陳列、販売促進サービスなどの業務を行っており、ロッテの食品部門における継続的な競争力の強化のためにサポートしています。2022年には社名を変更するとともに、ロッテウェルフードとロッテ七星飲料の販売促進業務を統合管理するシステムに改編し、運営の効率性を一層高めました。今後も人と顧客をつなぐ総合人材管理企業として人材管理の専門性を持続的に強化し、新規事業の領域を積極的に拡大していく計画です。

4

ロッテピープルネットワークス
商品陳列

3
ロッテアサヒ酒類
アサヒビール





New
Experiences
Better
Channels

RETAIL

革新で
流通の進化を
導いていきます。

ロッテの流通部門は、1970年代から流通の全分野で最高の力量を発揮し、流通産業の進化を導いてきました。ロッテ百貨店、ロッテマートをはじめ流通系列会社は、新しい流通チャネルや店舗フォーマット、特化店舗を導入し、オンラインおよびモバイルショッピングへと事業を拡大して様々なサービスを展開しています。また、ロッテホームショッピングおよびロッテeコマースは、チャネルとコンテンツの競争力を強化し、成長を続けています。

さらに、エフアールエル 코리아 とロッテGFRは、差別化されたブランドとコンテンツでファッション業界の変化をリードしており、ロッテメンバーズは便利なメンバーシップと簡単決済サービスを提供するマーケティングプラットフォーム企業として跳躍しています。

• ロッテ百貨店

- 没入&体験型ライフスタイルモールの完成
- 店舗のリニューアルを通じた核心競争力の強化

• ロッテホームショッピング

- BELLYGOM(キャラクター)、ルーシー(バーチャルモデル)など独自コンテンツのIP拡大
- ドラマやバラエティ番組などコンテンツコマースの強化



Lifestyle Curator

- ロッテ百貨店
- ロッテマート
- ロッテスーパー
- ロッテeコマース
- ロッテホームショッピング
- コリアセブン
- ロッテハイマート
- ロッテGFR
- エフアールエル 코리아
- 韓国エスティーエル
- ロッテメンバーズ

• ロッテマート

- グローサリー専門マーケット「グランドグローサリー」、未来型革新店舗「ゼータフレックス」、酒類専門店「ボトルバンカー」といった特化店舗の拡大

• コリアセブン

- 最先端の無人コンビニエンスストア運営、都心向けの配送ロボットサービス、ドローン配送などIT技術を活用した先進化された未来型コンビニエンスストア運営

主要事業海外進出状況



- ロッテ百貨店
ベトナム、
インドネシア
- ロッテマート
ベトナム、
インドネシア

We design cultural platforms for the art of smart shopping



お客様の最初のショッピング目的地になります。

絶えず進化を繰り返してきたロッテの流通部門は、「お客様の最初のショッピング目的地」となるという新しいビジョンを掲げ、オン・オフラインを行き来するサービスとコンテンツを通じて顧客に差別化された経験、新しい楽しさを提供していきます。未来型ショッピングモールと次世代フラッグシップ店をはじめ、様々な体験ができる特化店舗など、オフラインショップの競争力も一層強化する予定です。さらに、ベトナム、インドネシア、台湾など、アジア地域を中心にグローバル事業を活発に推進し、確固たる競争力を備えたグローバル流通企業へと成長していきます。

New Life Platform



ロッテショッピング、オカドスマートプラットフォームの導入

イギリスのオンラインスーパーマーケット企業の「オカド」と協業し、スマートプラットフォーム(Ocado Smart Platform)を導入して、オンライン食料品市場での競争力をさらに強化していきます。

ロッテマート、特化店舗の拡大

フラッグシップストアの「ゼータフレックス」、酒類専門店の「ボトルバンカー」など特化店舗を拡大し、顧客に斬新で楽しい経験を提供します。

タイムピラス水原

お客様に新しいライフスタイルを提案するタイムピラス水原は、百貨店とショッピングモールのメリットを結合した「コンバージェンス型プレミアムショッピングモール」です。



ロッテホームショッピング、独自のコンテンツを活用したIP拡大

バーチャルヒューマンモデルの「ルーシー」、独自のキャラクター「BELLYGOM」を開発し、経験を重視するMZ世代に向けて差別化されたコンテンツを披露しており、IPを活用した様々な事業を展開しています。



ロッテ百貨店、東南アジアNO.1リテイラーへ

ロッテ百貨店は2023年、ベトナムのハノイにプレミアム複合ショッピングモール「ロッテモールウエストレイクハノイ」をオープンし、順調に経営しています。

store.
lotteshopping.
com

ロッテ百貨店

主要事業

百貨店

ロッテ百貨店は1979年の創業以来、韓国国内流通産業とショッピング文化の発展をリードしてきた、韓国トップの百貨店です。韓国内に計59店舗を運営しており、内部的には組織文化の革新を、外部的には顧客満足度を徹底的に実践するための変化を導いています。特に、ロッテ百貨店は根源的な競争力である百貨店の格に合う商品とサービスを通じて顧客のショッピングの品格を高め、これから顧客に新しく差別化された経験とライフスタイルをキュレーションするという方向性を盛り込んで、2021年「プレミアムライフスタイルキュレーター(PREMIUM LIFESTYLE CURATOR)」というビジョンを新たに樹立しました。新しく樹立したビジョンに従ってロッテ百貨店だけのアイデンティティ構築に向けた様々な体験型MDを具現し、MZ世代をターゲットにパーソナライズされたプロモーションを強化しています。特に本店、タイムビラス水原などの主要店舗を中心に大規模のリニューアルを行い、未来の流通産業が進むべき方向を提案しています。

また、真のESG企業へと成長するために「地球を再生しよう」というスローガンと共に環境キャンペーン「RE:EARTH(リアース)」を始動しました。お客様が参加してESG活動を楽しむことのできる「FUN ESG」をコンセプトに、様々な顧客参加型コンテンツを展開しています。内部的にはクリエイティブで挑戦的な組織文化を造成するために、社員が一丸となって努力しています。韓国国内だけでなく海外へも積極的に進出し、グローバル競争力を強化しています。2023年9月にオープンした「ロッテモールウェストレイクハanoi」は、オープンから122日で売上1千億ウォンを達成、ハanoiを代表する新しいランドマークになりました。ロッテ百貨店はこれまで蓄積してきた力量を基に、顧客に幸せな思い出や豊かな暮らしを実現するアジア最高の百貨店へと成長していきます。

59 4

韓国国内店舗数 (2024年7月基準) 海外店舗数 (2024年7月基準)

No.1

不動産韓国第1位百貨店 (2024年7月基準)



- 1 롯데モールウェストレイクハanoi
- 2 リアースマーケット 済州島ブース
- 3 タイムビラス水原



company.
lottemart.
com

ロッテマート

主要事業

割引店

1 ロッテマート
グランドグロサリー
恩平店

2 ロッテマート
ベトナムの
ヴィン(Vinh)店

ロッテマートは、1998年に第1号店である江辺店のオープン以来、飛躍的な発展を重ね、現在は韓国内外で計175店舗を保有するグローバルな流通企業に成長しました。従来のディスカウントストアの形態から脱し、生鮮食品などグロサリーを集中的に強化すると同時に、ロッテマートならではの顧客体験を提供するカテゴリリー専門売場をコアコンピタンスとして推進し、お客様のニーズの変化に応じています。代表的なものとして、フラッグシップストア「ゼータフレックス(ZETTAPLEX)」、倉庫型ディスカウントストア「マックス(MAXX)」のような特化店舗、酒類専門店「ボトルバンカー(Bottle Bunker)」、ペット専門店「コリオリ(Colioli)」、H&Bストア「ロブスプラス(LOHB'S+)」を運営しています。特に、2023年末には売り場面積の90%ほどを食料品で埋め尽くした新しい店舗フォーマット「グランドグロサリー(Grand Grocery)」を大型マートとして初めてオープン、お客様の食生活をより豊かにする新しいスタイルを提案しました。海外ではベトナムとインドネシアに進出して64店を運営しています。高品質のPB製品とモバイル中心のオンラインマーケティングを強化し、現地のお客様に愛されています。今後も未来型マートの先駆者として、グロサリー中心の実店舗に力を注ぐことで、韓国内外の大型マートに対する競争力をさらに高めていく計画です。



111

韓国内店舗数
(2024年3月基準)

64

海外店舗数
(2024年3月基準)

company.
lottesuper.
co.kr

ロッテスーパー

主要事業

スーパーマーケット

ロッテスーパーは2001年に1号店として典農店をオープン。これを皮切りに、近距離商圈を基盤とした顧客中心の流通チャンネルとしての地位を固めてきました。ロッテスーパーは現在、直営店と加盟店事業を展開しています。店周辺商圈を分析し、買い物の利便性と販売率アップに向けて、購入頻度が高い商品を中心に陳列するなど、商品ラインナップの構成に努めています。生鮮食品では価格競争力を高めた単独企画商品である「クッジャン商品」をはじめ、環境にやさしい無抗生剤商品、1人世帯をターゲットにした小容量規格商品にも力を入れています。加工食品では「今日良い」と「料理する」をベースに、コストパフォーマンスの良いPB商品の開発に努めており、家でも手軽に料理が食べられるように「デリカ(Delica)」、HMR商品も強化するなど、店の近所に住むお客様に満足していただけるよう取り組んでいます。さらに、ロッテスーパーが地域で愛され、より身近な存在になれるように、店の看板交換を進めて統合の意味を強調し、スーパー本来の姿をアピールしていく予定です。

356

店舗数
(2024年3月基準)

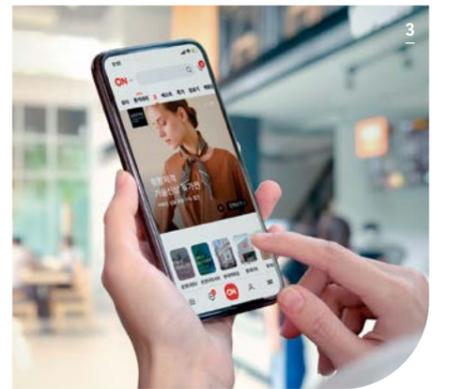
story.
lotteon.
com

ロッテeコマース

主要事業

オンラインショッピングモールおよび
オンラインビジネスソリューションサービス

1996年に韓国初のオンライン総合ショッピングモール、ロッテドットコムを誕生させたロッテeコマースは、2018年にロッテショッピングのオンライン事業部として新たに発足しました。そして、2020年4月には、ロッテの統合オンラインショッピングプラットフォーム「ロッテオン(ON)」を立ち上げました。ロッテオンはプレミアムライフスタイルプラットフォームを目標に、ブランドショッピングの新たな基準をつくりつつあります。高度化されたデータそして信頼できる商品とブランドによって、ビューティー、ハイブランド、ファッション、キッズといった専門館をオープン、優れたブランドコンテンツとパーソナライズサービスをベースに、差別化されたサービスを提供しています。ロッテオンはロッテグループを代表するオンラインモールへと成長するために、各系列会社との協業にも力を入れています。2024年1月から系列会社協業プロモーション「月間ロッテ」を定期的に行っており、常時特典や単独商品の構築などによって、ロッテに来店する前に必ず立ち寄るプラットフォームとなっています。



3 ロッテeコマース
ロッテオンモバイル

4 ロッテスーパー
木浦龍海店



www.
lotteimall.
com

ロッテホームショッピング

主要事業

総合ホームショッピング

ロッテホームショッピングは2007年、ウリホームショッピングの買収に伴ってホームショッピング市場に進出すると、流通大手ロッテグループとのシナジー効果により、まもなく市場に定着しました。様々なオンラインショッピングチャンネルを通じて韓国内外の優れた商品を提供しており、単独ブランドの開発による商品競争力の確保、モバイルおよびデータホームショッピングチャンネルの競争力強化、デジタル技術を活用したショッピングサービスの提供などにより、急変する流通環境に対応しています。2023年にビジョン「マルチチャンネル商品プロバイダ」を発表し、モバイルやSNSなどで販売チャンネルを多角化する戦略を推進しています。一方、競争力のある韓国内外ブランドを発掘し、チャンネル別のカスタマイズマーケティング、コンテンツコマース、インフルエンサーとの協業など連携に注力し、流通業界を代表するサプライヤーとして活躍しています。ホームショッピング市場の高級化・専門化の流れに合わせて、ショッピングとエンターテインメントの融合、情報とトレンドの共有などショッピングコンテンツを強化し、自主開発したグローバルキャラクター「BELLYGOM」、インフルエンサーとの連携コマースである芸能チャンネル「ネネスタジオ」など、IPコンテンツ市場にも積極的に進出しています。今後、差別化された商品をマルチチャンネルに供給する流通企業、さらには海外市場においてIP競争力を備えたグローバルメディアコマース企業をめざします。



1st

流通会社として初めて中小ベンチャー企業部主管
「WIN-WIN HONORS」優秀事例に選定
(2024年3月)

1

ロッテホームショッピング
タイ「シナム・ディスカバリー」
BELLYGOM特別展示

2

ロッテホームショッピング
ツヤンXフェュラショー

www.
7-eleven.
co.kr

コリアセブン

主要事業

卸・小売流通(コンビニエンスストア)

コリアセブンは1989年、韓国初のコンビニ「セブンイレブン」を韓国で展開し、2023年現在、全国で1万3千店以上を運営しています。セブンイレブンは世界で最も認知度の高いグローバルコンビニブランドで、世界に20か国、約8万5千店が運営されており、一日だけで6千万人以上が利用しています。このようなグローバルセブンイレブンのネットワークを通じて、世界各国のセブンイレブンの人気PB商品や差別化商品を発売するなど、他のコンビニブランドとは一線を画す特別な経験を提供しています。この他にもリーズナブルな価格帯のPBブランド「セブンセレクト」をはじめ、様々な安心グルメを販売し、グルメに特化したプラットフォーム「フードドリーム」、キャラクター差別化商品、新概念O4Oサービスなどによって、オン・オフラインを行き来する新しいライフスタイルを提案しています。セブンイレブンは事業安定性の強化、店舗運営の効率化、売上活性化のサポートなどにより加盟店との共生に努め、共存と共栄の価値を実現しています。

3

セブンイレブン
チャレンジストア外観

4

グローバル
セブンイレブンの商品



13,130

店舗数
(2023年基準)

www.
e-himart.
co.kr

ロッテハイマート

主要事業

家電製品卸・小売

1999年に設立されたロッテハイマートは、全国に335店の直営店と11か所の物流センター、2つのハブ物流センター、11か所のサービスセンターを保有する家電流通専門企業です。大型家電から小型生活・キッチン家電、IT家電まで、私たちの生活に欠かせない家電商品の構成を多様化し、顧客満足度を高めています。さらに、ブランドソーシングの拡大とPB商品や家電のLifeカスタマイズサービスの開発により、お客様のLife Stageにぴったりの家電製品とケアサービスを提案する生涯家電Lifeキュレーターへと変化しています。消費者の多様なニーズとライフスタイルを反映しながら実店舗の革新に取り組み、差別化されたコンテンツとサービスでオンラインチャンネルを強化するツートラック戦略により、未来の家電流通市場を牽引していきます。

335

韓国内店舗数
(2024年3月基準)



1
ロッテハイマート
ワールドタワー店

www.
lottegr.
co.kr

ロッテGFR

主要事業

海外ファッション、女性服、化粧品

ロッテGFRは、2018年にロッテ百貨店の海外ブランド事業部門とファッション専門会社エヌシーエフ(NCF)が合併し設立しました。顧客中心、専門性と多様性、透明でコミュニケーションが自由な組織、挑戦するスタートアップ組織文化を通じて顧客のニーズを理解し、市場の価値をリードするために努力しています。また、斬新で差別化されたブランドとコンテンツを市場に紹介し、ロッテとのシナジー効果を通じて単なるファッション企業としてのみならず、総合コンテンツプラットフォーム会社を追求しています。現在、レディースコンテナリーファッションブランド「NICE CLAUP」のライセンス事業を中心に、ラグジュアリー・パフォーマンス・ライフスタイル・ビューティーカテゴリーの「KENZO」、「CANADA GOOSE」、「K-WAY」、「BIMBA Y LOLA」、「CHARLOTTE TILBURY」といった様々な海外輸入ブランドを展開し、事業領域を拡大しています。今後お客様と市場に対する洞察と専門性、多様性を備えた人材により、迅速な決定と実行、果敢に挑戦できる文化をコアバリューとして追求し、コンテンツ市場の新しいリーダーへと成長できるよう、邁進いたします。

www.
uniqlo.
co.kr

エファールエルコリア

主要事業

衣類流通販売

エファールエルコリアは、2004年にロッテショッピングと世界的なファッション流通企業のファーストリテイリング(Fast Retailing)が合併し設立した会社で、グローバルファッションブランドユニクロ(UNIQLO)の商品を韓国に流通、販売しています。エファールエルコリアは、顧客満足度を最優先に考え、顧客がユニクロの優れた品質とデザイン、リーズナブルな価格の「ライフウェア(LifeWear)」商品をいつでも便利に体験できるように最善を尽くしてきました。特に、日常生活を中心に着心地と実用性に優れた日常着を通じて毎日着る服に対する新しい価値を生み出し、顧客により良い日常を提供しています。

www.samanthakorea.com
www.myshell.co.kr

韓国エステーエル

主要事業

ファッション・バッグ・衣類の流通販売

韓国エステーエルは2011年にロッテショッピングとサマンサタバサジャパンの合併会社として発足、サマンサタバサコリアとマイシェルを主要ブランドとして運営しています。グローバルブランドのサマンサタバサコリアは、急変するKトレンドを分析し、迅速に製品化することで、レディースハンドバッグのトレンドをリードしています。デザイナーブランドとしての価値向上に向けて、アパレルとアクセサリーの領域を広げています。2021年に発表したヤングカジュアルブランド「マイシェル」は、エコ素材のファッショングッズと経験の楽しさがもたらすリフレッシュをコンセプトに、消費者とコミュニケーションをとっています。海コンCEPTのオブジェを中心に、ユニークなデザインとカラーの多様な製品ラインアップを展開する一方、ロッテワールドモール内のフラッグシップストアを中心に、経験して楽しむことができるコミュニケーションブランドをめざしています。

www.
lottemembers.
com

ロッテメンバーズ

主要事業

ロイヤルティマーケティング・デジタル広告・データ分析サービス

ロッテメンバーズは年間のポイント取引量が9,000億ポイントに達し、約4,300万人の会員が利用しているグローバル最高水準の統合メンバーシップサービスのL.POINT事業者です。会員一人一人の好みや状況、生涯段階に合わせたパーソナライズサービスを通じて、ロッテ顧客のロイヤリティを強化しており、約240社のパートナー社が顧客と長期的かつ持続的な関係を作っていくように、プラットフォーム基盤の統合マーケティングサービスを提供しています。また、ロッテ流通ビッグデータを活用したデジタル広告およびデータ分析事業を拡大しており、より幅広いデータサービスを提供するために金融、通信、ITなど様々な分野の有数企業とデータアライアンスを構築しています。ロッテメンバーズは今後も流通を越え、全産業領域にわたって深みのある豊富なインサイトを提供するデータカンパニーとしての地位を確立して行きます。

4,316万人

L.POINT会員数
(2024年5月基準)

2
ロッテGFR
Canada Goose
ロッテ百貨店本店

3
エファールエルコリア
ユニクロ
ロッテワールドモール店

4
ロッテメンバーズ
L.POINT・L.PAY
統合アプリケーション





New
Technologies
Better
World

CHEMICAL

グローバル総合
化学企業の力量を
備えていきます。

ロッテ化学部門は1970年代から持続的な技術開発と品質革新、生産能力の向上を通じて韓国の化学産業の発展に貢献しながら成長してきました。LOTTE Chemicalと関連子会社のLOTTE Chemical Titan、LOTTE Chemical USAをはじめ、ロッテ精密化学、ロッテINEOS化学、LOTTE MCCなどの化学部門の系列会社は、基礎原料から高付加価値スペシャリティ製品まで、生活の中で活用される様々な化学製品を供給しています。また、世界主要各国に生産・販売拠点を備えて、120か国以上の国を対象に製品を輸出し、グローバルトップティアの化学企業として力量と地位を固めています。

基礎石油化学事業

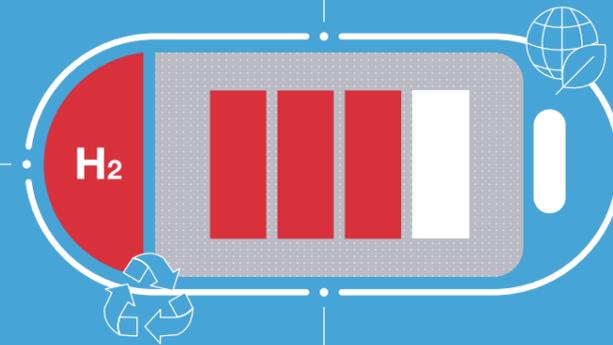
- 高付加価値スペシャリティ事業
- 既存のスペシャリティ製品群の拡大
- 製品の高付加価値化
- バイオ、エコ素材といった新規事業分野に進出

水素エネルギー事業

- 水素の生産・流通・活用まで韓国内に水素生態系を構築
- 水素タンク商用化に向けたパイロット工程設備の構築完了
- アンモニアの熱分解および光分解技術の実証進行
- 2030年まで計5兆ウォン投資

Green Sustainability

- LOTTE Chemical
- ロッテ精密化学
- ロッテINEOS化学
- LOTTE MCC
- LOTTE Chemical Titan
- LOTTE Chemical USA
- ロッテアルミニウム
- ロッテエナジーマテリアルズ



バッテリー素材事業

- リチウムイオン電池の主要4材料および次世代バッテリー素材の事業拡大
- 2025年までアメリカに初の正極箔生産基地の設立を推進
- 2030年まで計5兆ウォン投資

プラスチックリサイクル事業

- ECOSEED年間100万トン販売を推進、熱分解技術および生分解ポリマーの商用化を推進
- 2030年まで計1兆ウォン投資

主要事業海外進出状況



● LOTTE Chemical

マレーシア、インドネシア、アメリカ、ウズベキスタン、タイ、ベトナム、香港、ロシア、日本、中国、パキスタン、テュルキエ、ドイツ、スロバキア、ハンガリー、メキシコ、ペルー、インド、イタリア、アラブ首長国連邦、ナイジェリア

We pursue better business with the sustainable economy



環境にやさしい事業で持続可能な成長を実現します。

ロッテ化学部門は、産業の根幹をなしている化学製品の他にも、環境にやさしい事業の拡大を通じて持続可能な成長を目指しています。LOTTE Chemicalは水素エネルギー、電池素材、リサイクルプラスチックといったグリーンビジネスと高付加価値スペシャリティ事業にポートフォリオを拡大し、新しい成長基盤を構築しています。ロッテ精密化学も水素・アンモニアなどのエコエネルギーとともに未来の食・医薬素材市場に進出しており、ロッテアルミニウムは韓国内外で2次電池素材事業を着実に拡大しています。環境にやさしい技術に基づいた戦略的な新事業を推進し、炭素削減成長を実現するグローバル総合化学企業になります。

Hydrogen Value chain

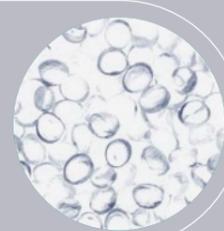


二酸化炭素の回収・有効利用(CCU)技術の商用化推進

韓国の化学会社としては初めて気体分離膜を適用したCCU設備の実証を完了し、ブルー水素生産分野の炭素捕集技術を拡大するために研究開発を続けています。

LOTTE Chemical、韓国初の乾式ワインディング水素タンクの商用化
乾式ワインディング(Dry winding)水素タンクの製造技術を韓国内で初めて量産パイロットに適用し、水素経済の大衆化に向けた基盤を整えました。

バッテリー素材の電解液有機溶媒の研究開発
電解液有機溶媒の中核素材4種の生産を推進し、将来のバッテリー事業の競争力を強化します。



高付加価値スペシャリティ事業の強化

建築、医薬、半導体などの高付加価値素材の開発と製品の多角化に取り組み、高い収益性と成長可能性を備えたスペシャリティ事業を拡大していきます。



エコ素材ブランド 'ecoseed' 発売

LOTTE Chemicalは「ECOSEED」ブランドの発売に伴って、プラスチックのリサイクルと脱炭素化グリーンビジネスを拡大する計画であり、2030年までに資源循環を促進するプラスチック素材「ECOSEED」の100万トン供給を目標にしています。

www.
lottechem.
com

LOTTE Chemical

主要事業

基礎留分、モノマー、ポリマー、合成樹脂、建材、
電池素材、水素エネルギー、再生プラスチック

LOTTE Chemicalは1976年に設立された総合化学企業であり、韓国内の3大石油化学団地である麗水、大山、蔚山地域で国際的規模の生産施設を運営しています。継続的な工場の増設と事業拡大を通じて原料から製品に至るまで垂直系列化を実現すると同時に安定した収益性を維持しています。海外では2010年に買収したLOTTE Chemical Titanを介して、マレーシアおよびインドネシアなど東南アジア地域への市場拡大を成し遂げており、2015年にはウズベキスタンのガス田化学団地を完成し中央アジアに新規参入するための足場を整えました。2019年にはアメリカにLOTTE Chemical USAを設立して、サッカー場152個分(約102万㎡)の大規模石油化学団地を韓国化学企業として初めて現地に建設し、エタンクラッカー(ECC)を完成させるなど、韓国の化学企業が世界的に認められるきっかけとなりました。

LOTTE Chemicalは、持続可能な成長に向けて水素エネルギー、電池素材、リサイクルプラスチックといったグリーンビジネスおよび高付加価値スペシャリティ事業にポートフォリオを拡大しています。グローバルクリーンエネルギーの普及と炭素削減成長のために、韓国と海外にクリーン水素の生産と流通、活用に至るインフラを構築するなど中長期的な投資、そして関連企業とのパートナーシップ構築を通じて、韓国の水素産業の主導権を確保していきます。また、バッテリー・エコモビリティの需要拡大に歩調を合わせ、系列会社や核心技术を保有する企業との協業を推進し、多角化したバッテリー素材を開発することで、バッテリー素材のグローバル供給会社に跳躍していきます。リサイクルプラスチック、バイオプラスチック事業も拡大し、循環経済時代のリーダーへと成長していきます。さらに、従来のスペシャリティ製品ラインアップの拡大と汎用品の高付加価値化に力を入れる同時に、バイオ・エコ素材といった新規事業への進出にも積極的に取り組んでいく計画です。

4
電気自動車の
バッテリー
分離膜の素材



20

グローバル進出国数
(2023年基準)

21

グローバル生産・販売拠点数
(2023年基準)

120

海外輸出国数
(2023年基準)



1
LOTTE Chemical
乾式ワインディング
水素タンク

2
LOTTE Chemical
基礎化学研究所

3
LOTTE Chemical
麗水工場



Every Step for GREEN.

www.
lottefinechem.
com

ロッテ精密化学

主要事業

精密化学

ロッテ精密化学は1964年に韓国肥料工業として発足して以来、韓国の化学産業の発展に貢献してきました。1990年代から本格的に精密化学事業に進出してセルロース、塩素、アンモニア系の精密化学製品を韓国内外に供給しています。2000年代に入ってから技術力に基づくエコ製品へと事業を拡大しており、高付加価値のスペシャリティ化学専門企業として成長を続けています。特に主力事業である高付加価値のセルロース系製品を韓国で唯一生産しており、エポキシ樹脂の原料であるECHや半導体現像液の原料であるTMAC、ディーゼルエンジン窒素酸化物の低減物質(尿素水)であるユーロックス®の製品は韓国第1位の市場占有率を記録しています。さらに、韓国で最大規模のアンモニア設備とインフラを基盤として、北東アジアのアンモニア流通の核心的な役割を担っており、高品質の製品をアジア、アメリカ、ヨーロッパなど世界中に輸出しています。今後も、未来のエコエネルギー源として注目される水素・アンモニア市場を先占する一方、健康食品や代替肉など未来の食・医薬素材分野で先導的地位を確立し、「グローバルTop 10スペシャリティ企業」のビジョンを実現していきます。



1

No.1

TMACグローバル市場占有率第1位
(2024年3月基準)

88

製品輸出国数
(2023年12月基準)

1

ロッテ精密化学
蔚山工場

2

ロッテINEOS化学
酢酸の製造工程の様子

www.
lotteineos.
com

ロッテINEOS化学

主要事業

石油化学

1989年にイギリスBP社との合併により設立されたロッテINEOS化学は、35年にわたり石油化学の基礎原料を安定的に供給し、韓国の化学産業の発展に貢献してきました。2021年にはイギリスのINEOSを新たなパートナーとして向かい入れ、グローバル石油化学企業として発展を図っています。高付加価値の精密化学製品、酢酸およびその誘導体(VAM、酢酸ビニル)を生産する韓国唯一の企業として、世界で最も競争力の高い良質な製品を生産するために努力しています。酢酸および酢酸ビニルの韓国市場におけるシェアは93%に達しており、工場増設を重ねた結果、生産設備の規模としては世界7位のレベルである年間生産量113万トンに増加しました。今後もロッテ化学部門の系列会社と緊密に協力し、Global Top-tier Acetyls Companyを目指して成長を続けます。



2

93%

酢酸・酢酸ビニル韓国内市場占有率
(2024年1~3月累計基準)

www.
lottemcc.
com

LOTTE MCC

主要事業

石油化学

LOTTE MCCは2006年、韓国トップレベルの化学企業であるLOTTE Chemicalと世界第1位のMMAメーカーである三菱ケミカルと合併して設立した先端石油化学企業です。韓国を代表する石油化学団地(麗水、大山)に計5カ所の生産設備を備えており、MMA、PMMA、MAA、HEMA、HISSなどの高付加価値の石油化学製品を生産、供給しています。さらに、韓国で唯一、スペシャリティ化学製品であるHEMA/HISSを生産するなど、差別化された競争力を備えています。また、優れた技術力をベースに電子・自動車をはじめとする様々な産業に核心素材を安定的に供給しており、石油化学製品の輸入依存度は下げる一方、輸出は増大させて国家経済の発展にも貢献しています。MMA事業の拡大、スペシャリティ製品のポートフォリオの多角化などを戦略的に推進し、高付加価値の石油化学産業をリードする韓国最高の企業に成長していきます。

3

LOTTE MCC
透明光学固体素材
PMMA

4

LOTTE MCC
透明液体素材
HEMA/HISS



www.
lottechem.
my

LOTTE Chemical Titan

主要事業

エチレン、合成樹脂、基礎留分

LOTTE Chemical Titanは、LOTTE Chemicalが成長可能性の高い東南アジア市場での販売拡大のため、2010年にマレーシアの石油化学企業であるタイタンケミカル(Titan Chemicals Corp)を買収して発足した石油化学企業です。マレーシアとインドネシアで事業拠点を設置しており、年間79万トン規模のエチレン生産が可能なNCC(Naphtha Cracking Center)を通じて各種の石油化学製品を生産しています。2017年にはマレーシア証券取引所上場で、約1兆ウォンの公募資金を調達する成果を上げ、市場の信頼の中で確固たる成長基盤を構築しました。新・増設投資を通じて事業規模を持続的に拡大し、東南アジアで市場支配力を強化することで、世界を代表する化学会社に跳躍していきます。

1
LOTTE Chemical
マレーシア



LOTTE Chemical USA

主要事業

エチレン、MEG生産

LOTTE Chemical USAはLOTTE Chemicalがアメリカのルイジアナ州レイクチャールズ(Lake Charles)地域の約991,735㎡(30万坪)の敷地に、韓国化学企業として初めて設立されたアメリカ現地工場です。2019年に商業稼働を開始し、年間エチレン100万トンとモノエチレングリコール(MEG)70万トンを生産しています。既存の石油化学製品の原料であるナフサの代わりにシェールガスから抽出したエタンをベースにエチレンを生産するECC(Ethane Cracking Center)を運営し、高い原価競争力を確保しただけでなく、韓国化学企業では唯一NCC(Naphtha Cracking Center)とECCを全部保有している企業になりました。LOTTE Chemical USAの設立に伴って、LOTTE Chemicalの年間エチレン生産量は計450万トンに増加し、韓国化学企業の中でエチレン生産量第1位を記録しています。

www.
lotteal.
co.kr

www.
lottelem.
co.kr

ロッテアルミニウム

主要事業

2次電池素材、包装素材、自動販売機、ショーケース、その他製造

ロッテアルミニウムは、1966年から韓国の包装素材産業をリードしてきた総合包装素材専門企業です。韓国内の6カ所の生産施設でアルミニウム箔、軟包装材、段ボール箱、缶、自動販売機、ショーケース、生活用品など様々な製品を生産しています。また、海外でもアメリカ、ハンガリー、インドネシアに現地生産システムを整えており、優れた素材を供給しています。2024年4月付けで、ロッテアルミニウムは既存事業を物的分割して2次電池素材専門企業である「ロッテインフラセル」とパッケージング特化企業である「ロッテパッケージングソリューションズ」を新設しました。ロッテインフラセルは2次電池素材をベースにヨーロッパや北米などグローバルサプライチェーンを構築し、エコバッテリー素材専門会社へと発展させていく計画です。ロッテパッケージングソリューションズは、缶や軟包装、段ボール、生活用品などのパッケージングにおける専門性を強化し、エコアイテムと差別化された製品に力を注いで市場をリードしています。今後もエコ製品、高付加価値製品の開発と生産能力の持続的な向上に努めることで、グローバル市場をリードする総合素材企業へと成長していきます。

6 3

韓国内工場数 (2024年6月基準) 海外工場数 (2024年6月基準)

www.
lotteenergymaterials.
com

ロッテエナジーマテリアルズ

主要事業

エレクフォイル(Elecfoil)

ロッテエナジーマテリアルズは、2次電池とプリント基板に使われる核心素材であるエレクフォイル(Elecfoil)の国産化をリードしてきた韓国の最上位の銅箔生産企業として、2023年ロッテケミカルの子会社として発足し、新たな跳躍を始めました。30年以上のノウハウで完成した精密で精巧な技術力、世界最高品質の製品生産能力、また、汎用銅箔製品から高強度・高延伸の高付加価値のハイエンド製品群まで、多様な製品のラインナップを構築していることが強みです。さらに、2次電池用のエレクフォイルの需要増大に伴い、マレーシア現地法人のグローバルオペレーション(Global Operation)の成功を通じて持続成長の基盤を築きました。今後、ヨーロッパや北米などの主要市場を先占することで、バッテリー産業の革新を主導するグローバルバッテリー素材の先導企業へと発展していきます。

2
LOTTE Chemical
アメリカ

3
ロッテアルミニウム
ハンガリー

4
ロッテエナジーマテリアルズ
マレーシア



New
Welcomes
Better
Comforts



HOTEL

日常の新しい経験と 特別な思い出を ご提供します。

ロッテホテル部門は業界最高の施設とサービスで50年以上にわたり、韓国の観光・文化産業の発展をリードしてきました。グローバルホテルおよびリゾートチェーンであるロッテホテル&リゾート、そして世界的規模の免税店を保有しているロッテ免税店は、韓国だけでなくアジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアなどで成長を続けています。年間たくさんの観光客が訪れるロッテワールドや旅行サービスの専門会社ロッテジェイティービーなどは、各分野で最高の評価を得ています。また、ロッテワールドタワーおよびロッテワールドモールは、韓国を代表するランドマークとして韓国内外の観光客に愛されています。

• ロッテホテル&リゾート

- ホテルおよびリゾートビジネスからプレミアムレジデンスおよびシニアレジデンスの運営管理などのリビング分野へと事業領域を拡大
- 運営力量の強化 (サービスのデジタル化、運営効率化システムの構築)
- 顧客管理の強化

• New Living Platform

- ロッテホテル&リゾート
- ロッテ免税店
- ロッテワールド
- ロッテジェイティービー



• ロッテ免税店

- 新規市場の進出を模索
- K-CULTUREの広報大使
- デジタル力量の強化(顧客経験の多様化)

• ロッテワールド

- ロッテブランド経験の提供(コンテンツ、サービスなど強化)
- コンテンツ事業の力量開発および新規事業の拡大

主要事業海外進出状況



- ロッテホテル&リゾート
 - アメリカ、ロシア、ウズベキスタン、ベトナム、ミャンマー、日本
- ロッテ免税店
 - アメリカ、日本、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール

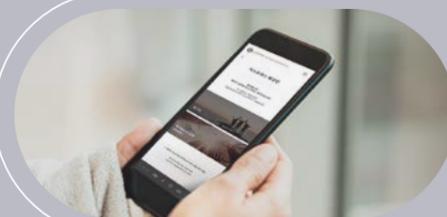
We provide unique services to savor experiences



もっと広い世界で成長を加速化します。

ロッテホテル部門は、韓国市場で第1位を維持する一方、ブランド競争力と運営力量を強化し、グローバル市場でも成長を加速化していきます。その一環としてホテル、リゾート分野では「宿泊」から「リビング」へとビジネスモデルと領域を拡大する戦略を進めています。特にロッテホテル&リゾートは、韓国内外の所有不動産や物件のリノベーションを推進し、シニアレジデンス事業と運営の専門性を強化したグローバルフランチャイズ事業に力を注いでいます。ロッテ免税店は新たな成長エンジンの確保に向けて、海外店舗の拡大とともに、オンライン免税店および物流施設への投資を続けています。また、ロッテワールドはアトラクションや公演などオフラインプラットフォームのブランド経験をさらに強化し、高付加価値コンテンツ事業を積極的に育成していく計画です。

Smart Hotel Solutions



ロッテホテル&リゾートのオンラインエクスプレスチェックイン

ホームページとアプリケーションを活用した「オンラインエクスプレスチェックインサービス」で対面チェックインの手続きを簡素化し、顧客の利便性向上に取り組んでいます。



ロッテホテル&リゾート、AI基盤の革新サービスの拡大

デリバリーロボットサービス、無人キオスク、案内ロボットなどデジタル力量を強化したサービスを通じて、便利で新しい宿泊体験を提供します。



ロッテワールド、オン・オフライングローバルテーマパークに事業領域を拡大

ロッテイー、ローリーなどのキャラクターを活用したコンテンツから、メタバースやNFTなどオンラインビジネスまで、顧客の楽しさのために革新的で様々な試みが続けていきます。

ロッテホテル&リゾート、VL L'HOURL住居施設&チョンミョンウォン

釜山オシリアにプレミアムシニアレジデンス「VL L'HOURL」を公開し、アクティブシニア向けの高品格ホテルサービスを提供します。

ロッテ免税店、海外6ヵ国進出およびグローバル免税店に跳躍

2022年のシドニー市内店、ダナン市内店に続き、2023年にはメルボルン空港店をオープンし、積極的に海外事業を拡大しています。

www.
lottehotel.
com

ロッテホテル&リゾート

主要事業

観光サービス

ロッテホテル&リゾートは、1979年に開業した以来、韓国内外で積極的に事業を拡大して世界7カ国に計35のチェーンを運営するグローバルホテルブランドに成長しました。プレミアムランドマークホテル「シングニエル」、クラシックアッパーアップスケールホテル「ロッテホテル」、ライフスタイルホテル「L7ホテル」、ビジネス客向けに最適化された「ロッテシティホテル」、プレミアムリゾート「ロッテリゾート」など、韓国内外に計5のホテルおよびリゾートブランドのポートフォリオを備えており、ブランドの多様化を通じて旅行者の様々なニーズに対応可能な差別化された商品とサービスを提供しています。既存のチェーン以外にも新事業としてプレミアムシニアレジデンスブランド「VL」を2022年4月に公式に立ち上げ、第1号レジデンスの「VL L'HOURL」を公開しました。今後、VLを新たな成長動力として積極的に事業を拡大していきます。

海外ではアメリカ、ロシア、日本、ベトナム、ミャンマー、ウズベキスタンでロッテホテル11か所とロッテシティホテル1か所、L7ホテル2か所を運営しています。2023年には「L7ウエストレイクハノイパイロット」のオープンに皮切りに、ライフスタイルホテルブランド「L7ホテル」の海外進出を本格的に開始、2024年には北米第1号店のL7ホテル「L7シカゴパイロット」がオープンします。これからも差別化された設備と予想以上の感動を伝えるサービスに心がけ、世界中に愛されるグローバルホテルチェーンに成長していきます。



21 14

韓国内チェーン店数
(2024年7月基準)

海外チェーン店数
(2024年7月基準)

1
VL L'HOURL

2
ロッテリゾート
束草

3
ロッテホテル
シアトル

kr.
lottedfs.
com

ロッテ免税店

主要事業

免税店

-

1980年に韓国初の総合免税店としてスタートしたロッテ免税店は、韓国で7店、海外で14店を運営するグローバル免税店に成長しました。世界的に免税店業界初の試みとして、百貨店のように売場ごとに区画化されたブティックスタイルを取り入れ、ルイヴィトン、エルメス、シャネルという世界3大ブランドを誘致することに成功しました。また、業界初となるインターネット免税店をオープンし、韓・中・英語の計3か国語のホームページを運営しており、2021年には世界初となるオンライン免税店での名品館オープンし、業界をリードしています。さらに、韓流モデルを活用したエンターテインメントマーケティングを積極的に展開して、外国人観光客や外貨の獲得に成果を収め、韓国観光産業の発展に大きく貢献しています。2012年には韓国免税店業界では初めて海外に進出し、現在アメリカのグアムをはじめ、日本、ベトナム、シンガポールで店舗を運営しています。2022年にはオーストラリアのシドニー市内店とベトナムのダナン市内店をオープンし、2023年にはオーストラリアのメルボルン空港店をオープンし、オーストラリアで5店舗、ニュージーランドで1店舗を運営するなど、アジア太平洋地域のグローバルトラベルリテラー(Global Travel Retailer)として跳躍しています。

7

韓国内免税店数
(2024年5月基準)

14

海外免税店数
(2024年5月基準)

www.
lotteworld.
com

ロッテワールド

主要事業

サービス業(総合遊園施設業)

-

ロッテワールドはテーマパーク、アクアリウム、展望台、ウォーターパークなど、観光・レジャー産業からデジタルコンテンツ領域まで含むオン・オフラインのテーマエンターテインメント分野をリードする企業です。1989年に開館した韓国初のテーマパークである「ロッテワールドアドベンチャー」は老若男女を問わず韓国を代表するテーマパークとして愛されており、これを基盤に2014年には「ロッテウォーターパーク」と「ロッテワールドアクアリウム」を、2017年にはロッテワールドタワー展望台「ソウルスカイ」を成功的にオープンし運営しています。また、2022年にオープンした「ロッテワールドアドベンチャー釜山」と2023年「ロッテワールドアクアリウムハノイ」まで韓国内外で積極的に事業を拡大して、世界中に愛されるグローバルエンターテインメント企業のビジョンを実現しています。さらに、キャラクターIPを活用した乳幼児向けのオンラインコンテンツの開発やオンラインプラットフォームへの進出など、デジタル分野にも領域を広げ、顧客に幸せな体験を提供する様々な新規事業を推進しています。

1,100万人

年間入場客数(ロッテワールドアドベンチャー・
ロッテワールドアドベンチャー釜山・
ロッテワールドアクアリウム・
ロッテワールドアクアリウムハノイ・
ソウルスカイ・ロッテウォーターパーク)
(2024年3月基準)

www.
lottejtb.
com

ロッテジェイティービー

主要事業

インバウンド・アウトバウンド旅行、航空・ホテル、法人出張、MICE

-

2007年に発足したロッテジェイティービーは、ロッテの豊富な観光インフラと世界的な旅行専門企業、日本ジェイティービーのグローバルネットワークを活用して高品質の旅行サービスを提供するロッテでは唯一の旅行会社です。発足以来、インバウンド旅行業界において売上高基準で韓国内1位を固守り続けています。2023セマングム世界スカウトジャンボリー、MLBワールドツアーソウルシリーズ行事などを通じて国際行事の運営経験を積み上げ、その経験を活用した安定的なホスピタリティを提供します。旅行業の根幹である航空サービスとともに、系列会社を含む韓国企業と学生団体などの公共機関対象のオーダーメイド型旅行サービスを企画・提案しています。また、ロッテジャイアンツスプリングキャンプ見学団やMLB正規シリーズ見学団、LPGA見学団などのグループインフラを活用して、スポーツと連携したカスタマイズ型商品、全世界へ向かうクルーズ商品、韓国発のチャータークルーズ商品を企画し、多種多様な海外観光サービスも展開しています。これからも人と場所、イベントをつなぐ差別化された旅行商品で韓国最高の旅行代理店に成長していきます。

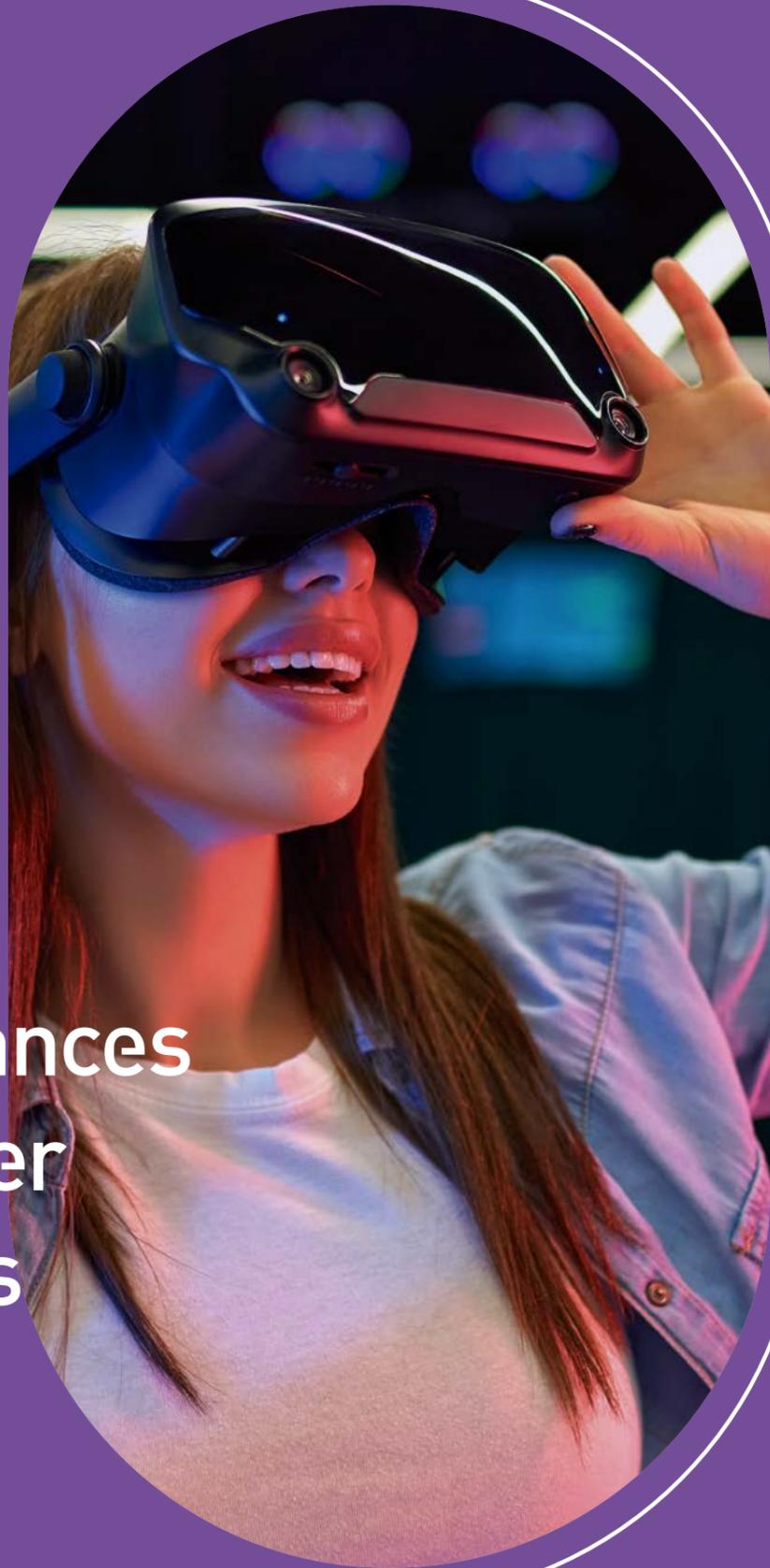
1

ロッテ免税店
チャンギ国際空港店

2

ロッテワールド
アドベンチャー
マジックキャッスル





New
Advances
Better
Lives

CONSTRUCTION · RENTAL · INFRA

暮らしを
より便利で豊かなもの
に変えて行きます。

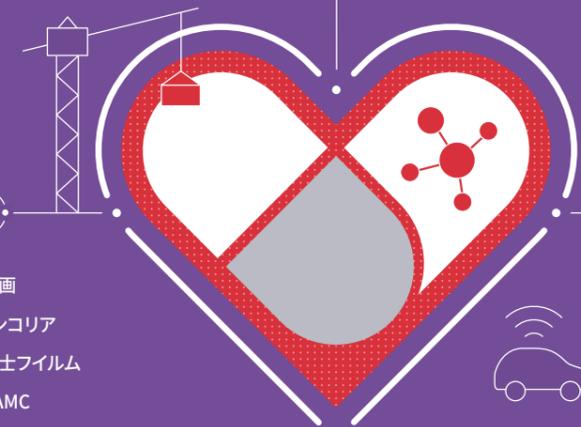
ロッテは建設・レンタル・インフラ部門の多様な事業を通じて、暮らしをより便利で豊かなものに変えています。独自の技術と豊富なノウハウをベースに建設、不動産開発・運営、レンタル、物流、ICT、金融、マーケティング、エンターテインメント、製造、資産管理、貿易、スポーツなど様々な分野で優れた実力を発揮しています。さらに、福祉財団と文化財団を通じて社会福祉と文化芸術に寄与し、共に生きていく暖かい世の中を作っています。

• ロッテ建設

- 開発から設計、施工、運営までTotal Serviceシステムに転換
- 投資開発型事業の拡大(複合開発、運営事業など)
- 海外現地のデベロッパー事業の拡大(アメリカ、ヨーロッパなど先進国に拡大)
- インドネシアLINEプロジェクト(プラントEPC最大規模の石油化学団地の造成)推進

• ロッテイノベート

- 自動運転シャトルの商用化に向けたシステムづくり、シャトル国産化推進
- 電気自動車の充電器メーカー「EVSIS(イブイシス)」を買収
- 独自ブランド「EVSIS(イブイシス)」の発売で、Total電気自動車の充電事業を拡大
- 次世代の知能型交通システム(C-ITS)、単・多車道のハイパス、自動運転シャトルなどモビリティ事業の強化
- 超体験型コンテンツ基盤のロッテメタバース生態系を構築



Convenient Infrastructure

ロッテ建設	大弘企画
ロッテ建設CM事業本部	キャノンコリア
ロッテ物産	韓国富士フィルム
ロッテrental	ロッテAMC
ロッテグローバルロジス	ロッテジャイアンツ
ロッテイノベート	ロッテ未来戦略研究所
ロッテバイオロジクス	ロッテ奨学財団
ロッテベンチャーズ	ロッテ福祉財団
ロッテキャピタル	ロッテ三同福祉財団
ロッテカルチャーワークス	ロッテ文化財団

• ロッテバイオロジクス

- BMSニューヨーク州シラキュース生産工場の買収
- 仁川松島バイオキャンパスの新設
- 韓国内外の優れたバイオ企業との協業によるCDMO事業インフラの構築

• ロッテグローバルロジス

- 物流インフラの投資拡大とDT・IT基盤の物流革新の推進
- 忠清北道鎮川でAI基盤の宅配メガハブターミナルを運営
- 「利川自動化センター」物流プロセスの全過程で自動化設備を構築

主要事業海外進出状況



- **ロッテ建設** — 中国、ベトナム、マレーシア、インドネシア、日本、パキスタン、ロシア、カンボジア、シンガポール、フィリピン
- **ロッテ物産** — ベトナム
- **ロッテrental** — ベトナム、タイ
- **ロッテグローバルロジス** — ドイツ、アメリカ、ベトナム、カザフスタン、中国、香港、インドネシア、ウズベキスタン、フィリピン、ハンガリー、メキシコ
- **ロッテ バイオロジクス** — アメリカ
- **ロッテ イノベート** — ベトナム、インドネシア
- **大弘企画** — ベトナム、インドネシア

We transform lives with innovative technology



新たな成長事業を育成し
未来に備えます。

ロッテは持続可能な成長に向けて、バイオとモビリティを新たな成長事業に選定し、集中的に育成しています。ロッテバイオロジクスは、アメリカのグローバル製薬会社の生産工場買収に伴って本格的なバイオ医薬品委託開発生産(CDMO)事業に参入し、仁川松島に計36万リットルの生産規模のバイオキャンパスを構築しています。ロッテイノベートは未来のモビリティ市場を先占するために、ロッテrentalなど複数の系列会社と緊密に連携しており、電気自動車の充電インフラ事業やメタバースエコシステムの構築など、ICT技術を活用した様々な事業を推進し、ビジネス転換を進めています。

Bio & Wellness



ロッテバイオロジクス、
海外製薬・バイオカンファレンスに参加

バイointernationalコンベンション、CPhI、JPモルガンヘルスケアカンファレンスといった世界的な製薬・バイオイベントに参加し、グローバル認知度のアップとパートナー企業確保に向けた広報活動を積極的に行っています。

ロッテバイオロジクス、
グローバルTop 10 CDMO企業目標

2030年まで売上高1兆5千億ウォン規模のグローバルTOP 10 CDMO企業に成長することを目指して取り組んでいます。



ロッテグローバルロジクス、利川自動化センター構築

AI・ロボット基盤のデジタル技術および先端の物流自動化設備を備えた利川自動化センターを構築し、スマート物流の革新を主導しています。

Mobility

ロッテイノベート、自動運転シャトルの商用化推進
ニュージーランドの自動運転専門企業「オミオ(ohmio)」と協力し、自動運転シャトルの商用化に向けてシステムを構築しています。



ロッテイノベート、電気自動車の充電インフラ構築

「EVSIS(イブイシス)」の買収など未来モビリティ生態系を先占することを目指して、韓国内外で電気自動車の充電インフラを構築し、関連事業を拡大しています。

www.
lottecon.
co.kr

ロッテ建設

主要事業

総合建設

1959年創業のロッテ建設は、1978年にロッテグループの一員となって以来、人類の豊かな暮らしに貢献しようというグループのミッションを経営活動のベースとし、住宅、建築、土木、プラントの建設諸般分野で韓国内及び海外事業を営み、建設プロジェクトにおけるライフサイクルの全段階から、他社とは一線を画す競争力を発揮しています。1999年に韓国で初めて誕生したブランドマンション「ロッテキャッスル」をはじめ、ハイエンドブランド「ルエル(LE-EL)」を保有し、住居文化トレンドの変化に対応した民間賃貸住宅、超高層・複合・流通施設、プラント、長大橋梁・トンネルといった陸上交通施設まで、主力商品の技術と品質、サービスレベルはますます向上しています。また、建設現場の安全と同時に、気候変動に対応するための活動に積極的に取り組んでいます。一方、公正かつ倫理的な経営によりパートナーと共存共栄し、役員たちの満足と自己実現のために支援しており、持続可能な社会の建設に貢献すべく努力しています。これからも、ロッテ建設は今日にとどまることなく、ロッテワールドタワーで見せた情熱と底力で、常にお客様と社会により良い価値を提供していきます。



1



2

8

施工能力評価順位
(2023年基準)

93

グローバルENR順位
(2022年基準)

1

ロッテ建設
ルエル(LE-EL)ギャラリー

2

ロッテモール
ウエストレイク
ハノイ

www.
lottecm.
com

ロッテ建設CM事業本部

主要事業

建設事業管理

ロッテ建設CM事業本部は、1985年に建設会社では初めてCM(Construction Management)業務を導入した建設事業管理の専門会社です。優れた技術と豊富な経験を基に、設計管理、事業費管理、工程管理、事後管理などを通じて、事業費用の削減および工事期間の短縮などの成果も実現しています。グループ工事(ロッテワールドタワー、百貨店、マート、ホテル、リゾート、シネマ、複合ショッピングモール、物流センター、バイオ施設など)全般におけるCMの役割を担い、大規模超高層プロジェクトやアメリカ、ハンガリー、ベトナム、中国、インドネシアなどの海外事業でもCMを担当し、成功に導いてきました。また、設計標準化、環境配慮型建築物、物流およびデータセンター、産業プラントなど、多岐にわたったプロジェクトの遂行実績をベースに、建設事業管理の高度化とESG経営に携わっています。今後も、CM分野で積み上げたノウハウを基盤に、韓国内だけでなく海外建設事業管理のCMリーディングカンパニーをめざします。

3

ロッテワールドタワー

4

ロッテセンターハノイ
ベトナム

www.
lottepnd.
com

ロッテ物産

主要事業

不動産開発・賃貸、運営管理

1982年に設立されたロッテ物産は、1987年から蚕室団地の開発事業に力を入れ、2014年にロッテワールドモール、2017年にロッテワールドタワーを成功的にオープンしました。ロッテワールドタワー・モールは年間5,500万人が訪れる世界的なランドマークとして定着し、新年カウントダウンと公共美術プロジェクト、アクアスローン、花火大会といったイベントによってお客様に楽しんでいただくとともに、地域共生に向けて努力しています。ロッテ物産は不動産開発と資産管理によって、事業ポートフォリオを多角化しており、現在、ウルジロシングネチャータワー、テヘラン路江南Nタワーなど、約10か所の不動産に対する資産管理を行っています。また、2022年にコラリス(Coralis S.A.)の株式を買収し、ベトナムのランドマークであるロッテセンターハノイを運営しています。LOTTE Property & Development Vietnam法人を設立してベトナムの不動産事業に進出し、ロッテモールウエストレイクハノイ、大宇スターレイクなどの資産管理を担当するなど、海外事業も着々と拡大しています。ロッテ物産は韓国内外の超高層ビルおよび大型複合不動産の開発・運営により専門性を培い、それを基盤としてグローバル総合不動産企業へと発展していきます。

555m

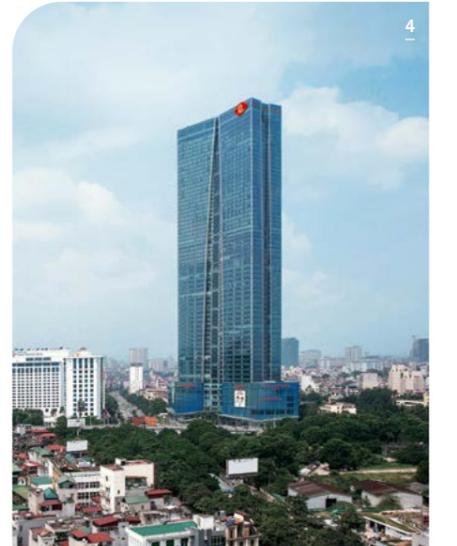
ロッテワールドタワーの高さ

5,500万人

ロッテワールドタワー・モール
年間訪問者数
(2023年基準)



3



4

www.
lotterental.
com

ロッテrental

主要事業

総合レンタル

ロッテrentalは、30年以上の歴史を持つ韓国唯一の総合レンタル会社で、2015年にロッテグループの一員として新たに出発しました。レンタカー、オートリース、カーシェアリング、中古車の売却・輸出業などのオートレンタル事業、事務機器、産業設備等のBIZレンタル事業など、様々な分野にわたったレンタルサービスを提供しています。代表ブランド「ロッテレンタカー」の保有車両は26万台以上で、韓国トップの規模を誇り、市場をリードしています。海外市場への進出にも積極的に取り組んでおり、ベトナムとタイで海外支社を運営し、現地市場を開拓しています。今後もサービス革新を続け、より便利で豊かな生活を作っていくモビリティレンタルプラットフォームをめざします。

No.1

韓国国内レンタカー市場占有率第1位
(2024年3月基準)

www.
lotteglolis.
com

ロッテグローバルロジス

主要事業

宅配、韓国国内物流、国際物流

ロッテグローバルロジスは1996年の設立以来、国家物流産業の発展に貢献し、韓国屈指の総合物流企業に成長してきました。韓国国内で1,000以上のビジネスネットワークのほか、中国、ベトナム、ハンガリー、ドイツ、アメリカなど海外11か国のグローバルネットワークをベースに、宅配、韓国国内物流、国際物流など総合物流サービスを提供しています。宅配事業では2022年、鎮川メガハブターミナルの完成に伴って、一日当たりの処理件数が増加、さらに宅配ネットワークシステムの転換によって、収益性の向上が期待されています。また、陸上運送、3PL(サードパーティロジスティクス)などを行う韓国内物流(SCM)およびフォワーディング、国際特送、港湾荷役などを行う国際物流事業では、様々なお客様企業を対象にした物流サービスの提供ノウハウをはじめ、2022年梁山統合スマート物流センター、2026年完成予定の驪州衣類・雑貨統合スマート物流センターといったDT基盤の物流革新によって、ケイパビリティを強化しています。今後、物流インフラへの継続的な投資、DT・IT基盤の物流革新とともに、スマートフルフィルメント、グリーンアンモニア海上運送、海外事業の拡大など新規事業の多角化を進め、世界中をつなぐグローバルトップティアの物流企業へと成長していきます。

11

海外進出国数
(2024年3月基準)

www.
lotteinnovate.
com

ロッテイノベート

主要事業

総合ITプラットフォーム・ソリューションサービス

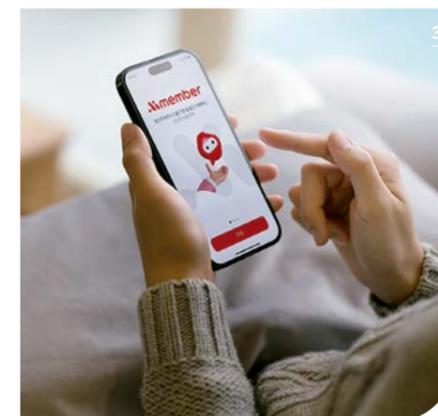
ロッテイノベートは1996年にロッテ情報通信という社名で設立されました。ITとDT(デジタル転換)能力を駆使し、流通、製造、物流、化学、金融など韓国内外の様々な産業群でお客様のBT(ビジネス転換)をサポートするサービス企業です。2024年3月にはお客様の革新をサポートするという意味を込めて、ロッテイノベート(LOTTE INNOVATE)に社名を変更しました。差別化されたBT戦略を立てるスマートエコプラットフォームで、食品、流通、建設など多様な産業データを統合・分析してカスタマイズソリューションを提供しています。特に業務全般に活用可能な独自の生成型AIプラットフォームを開発し、ロッテグループのAI競争力を強化しています。また、データセンター、クラウド、自動運転、融合セキュリティ、スマートシティなど、現代社会の発展の要となるITインフラとサービスを提供しています。ロッテイノベートは韓国だけでなく、ベトナムやインドネシアにも進出して活発に事業を展開しています。電気自動車充電プラットフォーム事業は関連認証を先駆けて取得し、アメリカ、東南アジアなどへの海外進出を準備しています。今後、未来の顧客ニーズと密接な関連がある新成長事業を強化し、韓国内・B2B・IT分野を越えて統合型グローバル市場へと事業を拡大していく計画です。

1
ロッテrental
済州オートハウス

2
ロッテグローバルロジス
利川自動化センター

3
ロッテイノベート
AIプラットフォームAimember

4
ロッテイノベート
メタバースバーチャル
コンサート会場



www.
lottebiologics.
com

ロッテバイオロジクス

主要事業

バイオ医薬品委託開発生産(CDMO)

ロッテバイオロジクスはロッテの新成長エンジンであるバイオ&ウェルネス分野のバイオ事業のために、2022年6月に設立されました。2022年12月31日、グローバル製薬会社プリストルマイヤーズスクイブ(BMS)社のアメリカシラクース(Syracuse)バイオ医薬品生産サイトの買収に成功し委託開発生産(CDMO)市場に参入しました。シラクースバイオキャンパスは現在、計4万リットルの抗体医薬品原液(DS:Drug Substance)の生産が可能であり、FDA、EMA、PMDA、MFDSを含む海外規制機関から62種類以上の製造販売承認を得るなど、CDMO事業のコアコンピタンスを保有しています。これを基盤に、最近抗体薬物複合体(ADC:Antibody Drug Conjugate)施設を拡大しており、今後はロッテバイオロジクス北米センターとして総合CDMOサービスを提供する計画です。さらに、韓国では仁川松島国際都市に4兆6千億ウォン(約3.3億ドル)を投資して3つのプラントを建設、合計36万リットルの抗体医薬品が生産できるようになる見通しです。2024年の第1工場着工を皮切りに、2034年には3つの工場の完全稼働を目指します。また、韓国内におけるバイオエコシステムの構築と新規治療剤の発掘に貢献するために、松島サイトにバイオベンチャー企業のための「Bio-Venture Initiative」を共に構築し、持続的な協業による共存共栄を図っていく予定です。これを通じて、ロッテバイオロジクスは医薬品開発から生産に至るまでバイオ産業のバリューチェーン全般に寄与し、患者に革新的な医薬品を提供して、バイオ産業の発展に貢献できるグローバルトップ10 CDMO企業として成長していきます。



www.
lotteventures.
com

ロッテベンチャーズ

主要事業

新技術事業金融業

ロッテベンチャーズは、2016年に設立された企業主導型ベンチャーキャピタル(CVC)で、革新的なスタートアップを発掘・投資・育成しています。現在、3,039億ウォン規模の投資金により計19のファンドを運用しており、ロッテの新たな成長戦略と連携した有望なスタートアップを発掘するために努力しています。韓国で初めてベトナム政府の外資系ベンチャー投資法人の承認を得たベトナム法人を皮切りに、今後、韓国内のスタートアップの底辺拡大および現地のスタートアップを直接発掘するため、アメリカ、日本などの海外進出を積極的に進めています。これからもロッテの新たな成長動力の推進に向けて持続的なファンドの拡充と健全な投資生態系を造成するために取り組んでいきます。

1
ロッテバイオロジクス
アメリカシラクース
バイオキャンパスの全景

2
ロッテバイオロジクス
仁川松島
バイオキャンパスの
鳥瞰図

3
ロッテベンチャーズ
デモデー

www.
lottecap.
com

ロッテキャピタル

主要事業

割賦金融、施設レンタル、信用・担保ローン、割引手形、レンタル

ロッテキャピタルは1995年に設立された総合与信専門金融会社で、個人顧客と企業顧客のために多様なローン、プロジェクトファイナンス、割引手形、ファクタリング金融など様々な金融サービスを提供しています。また、自動車リース、割賦金融、各種の産業機械、医療機器などのリース金融も取り扱っています。海外進出も積極的に取り組み、インドネシアに現地法人を運営してグローバル競争力を高めています。これからもコアコンピタンスを継続的に強化し、グローバル総合与信金融会社へと成長していきます。

www.
lotteiebs.
com

ロッテ未来戦略研究所

主要事業

経営コンサルティング、診断、顧問、技術コンサルティング、刊行物発行、情報提供

ロッテ未来戦略研究所は2002年4月に設立されました。ロッテグループの事業戦略策定、そして成長と発展に向けた「Knowledge & Business Solution Provider」の役割を担っています。グループの主力事業である流通、消費財、石油化学、ホテルなどの産業における市場の変化と動向分析により戦略的方向を提示し、グループが新しいチャンスをつかむと同時に、リスク管理ができるようサポートしています。また、グループの海外進出拡大に向けて、グローバル市場に対する研究と同時に、経営環境の変化に能動的に対応できるよう、インサイトを提供することにも力を注いでいます。今後もロッテ未来戦略研究所は、ロッテグループがビジネス環境の急変に素早く対応し、発展し続けていけるよう、良質のインサイトとソリューションを提供する役割を強化していきます。



www.
lottecinema.
co.kr

ロッテカルチャーワークス

主要事業

映画館、映画投資・配給、公演、ドラマ

ロッテカルチャーワークスは、映画館、映画投資・配給、公演、ドラマなどの事業でカルチャーライフを率いる総合エンターテインメント企業です。ロッテシネマは韓国国内PLF上映館の標本であるロッテシネマワールドタワースーパープレックスをリニューアルオープンし、映画の本質に没頭するシネマティックな空間、斬新で多様なコンテンツを経験するカルチャーステージ、最新のトレンドを楽しみながら疎通する複合文化体験空間に変貌しています。ロッテエンターテインメントは商業映画から自主映画まで幅広い映画ラインナップを展開しています。また、公演、ドラマ、ニューメディアコンテンツなど多様な領域に事業を拡大し、総合コンテンツ企業のモデルを構築しました。さらに、韓国最大規模の公募展を通じてクリエイターをサポートし、韓国国内IPを海外に輸出するなどコンテンツ産業の発展にも貢献しています。2006年に韓国初のミュージカル専用劇場として開館したシャルロッテシアターは、開館作であるミュージカル「ライオンキング」をはじめ、世界中のメガヒットミュージカルや主要ミュージカル作品を公演し、文化産業の発展に貢献しています。

www.
daehong.
com

大弘企画

主要事業

広告代行

1982年に設立された大弘企画は、数多くのヒットキャンペーンを誕生させ、広告・マーケティングコミュニケーション分野をリードする総合広告会社です。TV・デジタル広告を含むクリエイティブからプロモーションなどのブランド経験、データ基盤のデジタルパフォーマンスとマーケティングインサイトに至るまで、全方位的な統合マーケティングソリューションを提供し、消費者の心に響く様々な広告・マーケティング分野へと領域を広げています。海外市場にも積極的に進出し、ベトナムとインドネシア現地市場を対象に活発に事業を展開しています。2022年に創業40周年を迎えた大弘企画は、自社のヘリテージとして、思考の力(Think)と未来を牽引する力である新技術(Technology)を融合し、変化を導いていくという抱負を込めた新しいビジョン「Thinknology」を策定しました。その一環として生成型AIを活用して、別途の撮影なしに映像コンテンツ(Non-shooting Film)を製作する「AIスタジオ」を新設、AIマーケティングソリューションの専門組織「AIラボ」を運営するなど、AIトランスフォーメーションに積極的に取り組んでいます。



1
大弘企画
編集室

2
ロッテシネマ
ワールドタワー
スーパープレックス



2

www.
kr.canon

キヤノン 코리아

主要事業

トータルイメージングソリューション、事務機器、カメラ、医療機器、メディカル、産業設備

キヤノン 코리아は、1985年に韓国のロッテと日本のキヤノン社が合併で創立した「ロッテキヤノン」で韓国市場に進出しました。2021年には事務機器とカメラ事業を統合し、入力から出力まですべて可能な「トータルイメージングソリューション」企業として再発足しました。事務機器事業は、韓国国内の大規模生産工場および研究所を基盤に、開発から販売まで、すべてを網羅する総合的な能力を備えており、デジタル複合機を中心に商業印刷、メディカル、オフィスソリューションなど、4次産業のトレンドに合わせた事業を強化しています。また、カメラ事業は長期間、韓国国内のレンズ交換式カメラ市場で第1位を達成しており、強力なブランドパワーを立証しています。これからもキヤノン 코리아は革新的な製品とサービスをベースに変化する時代をリードする企業になります。

www.
fujifilm.
co.kr

韓国富士フィルム

主要事業

インスタントカメラ、写真材料、フォトブック、テーマパークフォトソリューションサービス、デジタルプリント装備および付加価値プリントサービス

1980年に設立された韓国富士フィルムは、デジタル時代にふさわしいイメージングソリューションを提案し、成長を続けています。インスタントカメラ「instax」と高品質のプリント商品によってアナログ写真文化市場をリードし、4カット写真ブランド「フィルム一杯」と、独自開発したフォトキオスク「セルフイーキオスク」の販売を韓国内外で拡大しています。また、全国のフォトスタジオとテーマパークで、韓国富士フィルムならではのイメージングソリューションを駆使し、より楽しい経験と高品質の写真文化を提供しています。今後も、ライフトレンドに沿った様々なイメージング事業で写真文化業界をリードしていきます。

www.
lotteamc.
com

www.
lottereit.
co.kr

ロッテAMC

主要事業

不動産投資および運用業

ロッテAMCは2019年ロッテ持株が100%出資して設立した資産管理会社で、不動産投資会社(REITs)が委託した不動産投資、運用業務を行っています。ロッテAMCが運用するロッテREITは運用資産総額(AUM)2.3兆ウォン規模の韓国最大の上場REITとして韓国REIT市場をリードしています。専門人材を通じて開発から運営、管理までREITの全段階を効率的かつ最適化された方法で実行しており、ロッテをアンカー投資家として活用してグループ内の優良不動産資産を持続的に編入する一方、透明な内部投資決定システムとリスク管理、安定的で堅固な配当収益率を提供することで投資家の信頼を高めています。今後、資産の多角化を通じて様々なタイプの資産を編入し、首都圏を中心にポートフォリオを構成してリスクを分散するなど、長期的な成長モメンタムを構築していきます。

2.3 兆ウォン

運用資産総額(AUM)規模
(2024年3月基準)



3



4

3
キヤノン 코리아
本社

4
富士フィルム
インスタックスミニエヴォ

137

韓国内映画館数
(2024年3月基準)

45

海外映画館数
(2024年3月基準)

www.giantsclub.com

ロッテジャイアンツ

主要事業
文化、スポーツ

ロッテジャイアンツは1982年の韓国プロ野球発足時に参入した釜山地域を本拠地とするプロ野球団です。1984年と1992年の二度の韓国シリーズ優勝を達成し、リーグ初の100万人動員、単一シーズン歴代最多観客動員などの記録を保有し、長い歴史と伝統ある球団です。競技力向上のための優秀な選手やコーチングスタッフの確保は勿論、データと科学に基づいた育成システムの構築にも力を入れています。これからもファンサービスの拡大や観客のための利便性向上、地域社会に向けた社会的責任と継続的な投資を通じて、韓国のプロ野球を盛り上げる最も影響力のある球団になります。

www.lotteconcerthall.com

www.lottemuseum.com

ロッテ文化財団

主要事業
文化・芸術

ロッテ文化財団は、文化芸術を通じて国民の幸せな暮らしと豊かな社会づくりに貢献するため、2015年に設立されました。2016年に韓国初のヴァンヤード(ぶどう畑)形式の「ロッテコンサートホール」を開館し、クラシックから現代音楽まで多様なジャンルの音楽公演により、音楽愛好家や大衆から満足を得ています。2018年にはコンテンポラリー美術館である「ロッテミュージアム」を開館して、ダイナミックな世界の現代美術を紹介し、文化芸術とともに生きる幸せで豊かな暮らしを提供しています。

www.lottefoundation.or.kr

ロッテ奨学財団

主要事業
奨学、学術、教育福祉

1983年に発足したロッテ奨学財団は、韓国内外で奨学、教育福祉事業を継続的に実施しており、設立以来、韓国内外を合わせて計6万人以上に奨学金を支援してきました。情熱と実力を兼ね備えた大学生が、学費を心配せず学業に精進できるよう、韓国はもちろんベトナム、インドネシア、マレーシア、パキスタン、カンボジア、フィリピン、ウズベキスタンの有名大学の学生と国家有功者の子孫に対し、奨学金を支援しています。さらに、最近にはロッテ辛格浩青年起業家大賞とシャロッセ文学賞を新設し、将来を引っ張っていく人材が、幅広い分野で経験と能力を培っていける機会を提供しています。

1,944 億ウォン

1983年~2023年の累積事業費

www.lottewelfarefoundation.or.kr

ロッテ福祉財団

主要事業
社会福祉

1994年に発足したロッテ福祉財団は、外国人労働者の支援のために設立され、継続的に事業の範囲と対象を拡大して社会的弱者の社会福祉の増進に貢献してきました。外国人労働者の医療支援のための薬品支援、障害者のためのカスタマイズ補助機器を支援しています。また、独居老人、ひとり親家庭を対象にした生活環境改善に向けて生活必需品を支援し、国際結婚や移民などによる多文化家庭を対象にした小・中学生に教育を支援するなど、より有効的な福祉支援ができるよう努力しています。最近には、外国人勤労者の無料健康診断のために、ロッテ医療財団のポバス記念病院と業務提携を結び、計300名に82種相当の健康診断を支援しました。

182 億ウォン

1994年~2023年の累積事業費

www.lottesdfoundation.or.kr

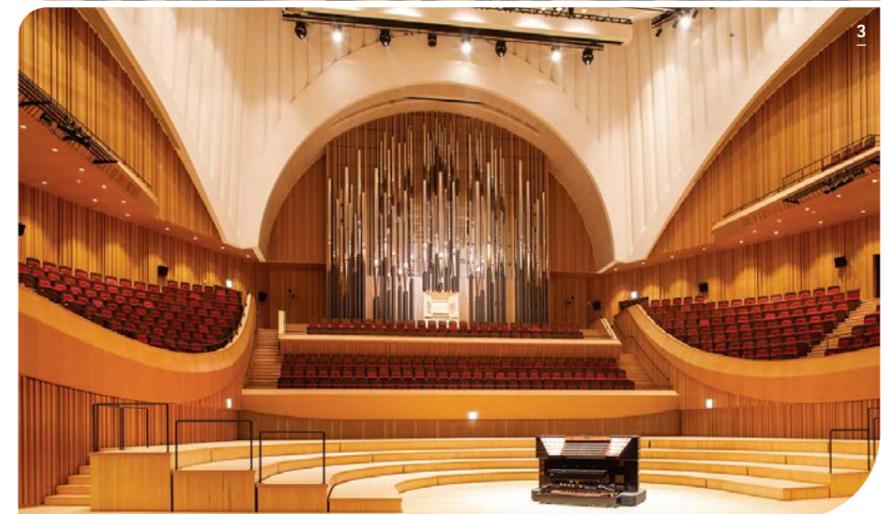
ロッテ三同福祉財団

主要事業
社会福祉

2009年に設立されたロッテ三同福祉財団は、蔚山地域を中心に、貧困層への支援、農漁村地域の文化水準の向上、教育格差の解消を通じた人材育成など、様々な社会福祉事業を着実に実践しています。特に、地域社会のボランティア団体と連携して低所得層、障害者、独居老人などの社会的弱者の各々の必要に応じた物資の支援と家庭訪問によるボランティア活動を展開するなど、心をつかち合い希望を伝えて、共に生きる暖かい世の中を作り出すために努力しています。最近には、予算を1億ウォン増額し、支援範囲も従来の蔚山郡、中区、南区から、さらに北区と東区にまで拡大しました。

182 億ウォン

2009年~2023年の累積事業費

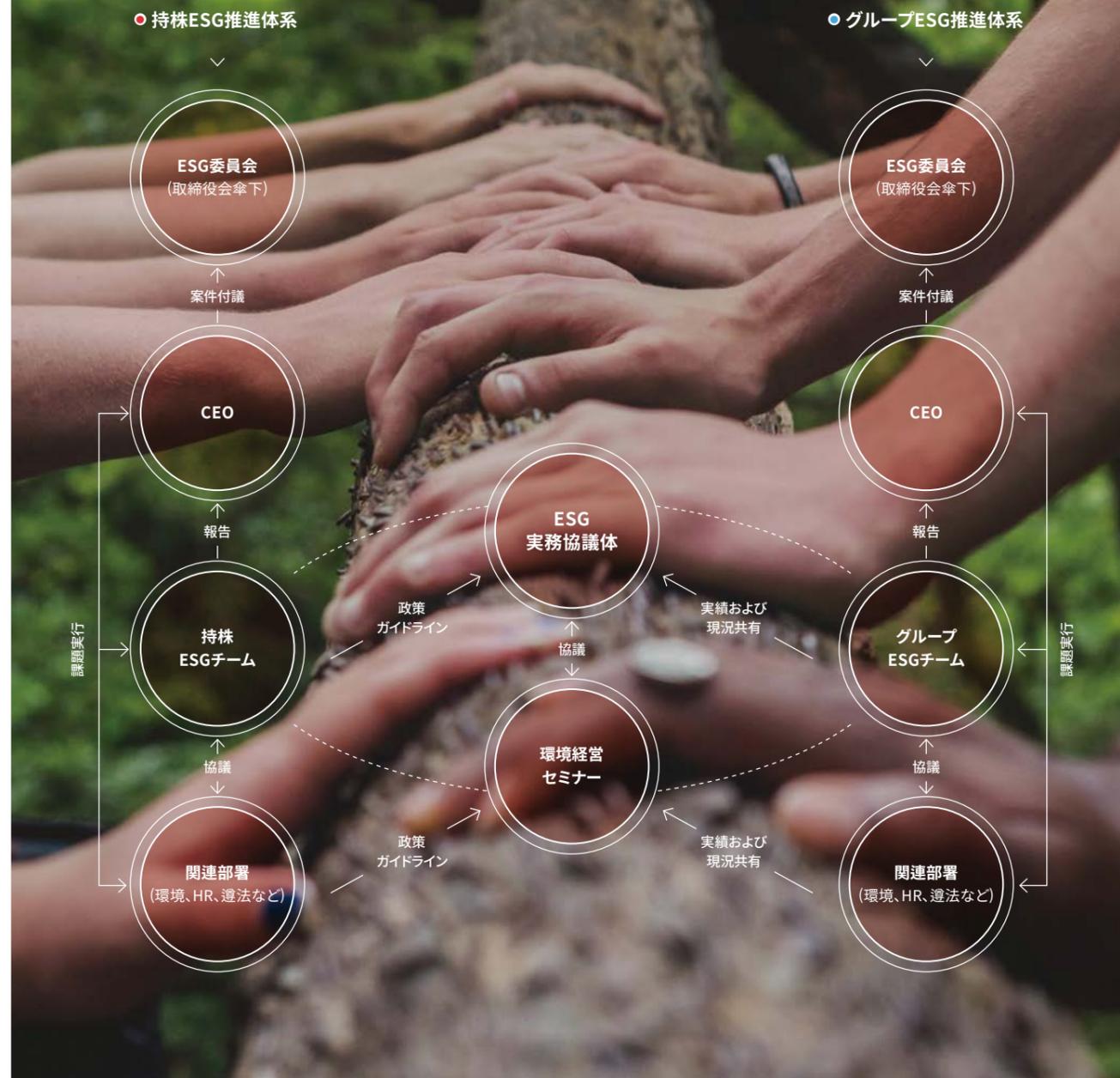


1
ロッテジャイアンツ
釜山の社稷野球場

2
ロッテ奨学財団
ハンマウム疎通キャンパス

3
ロッテコンサートホール

We Are Improving ESG to Build a Better World



ESG MANAGEMENT

ロッテグループは環境、社会、支配構造を中心に経営全般で社会的責任を果たすESG経営を積極的に推進しています。ロッテならではの斬新で有益な方法を通じて持続可能な成長を追求し、顧客、株主、役職員、パートナー社、地域社会をはじめとするすべての利害関係者のより良い未来を作っていきます。

10

全上場企業ESG委員会
100%設置完了

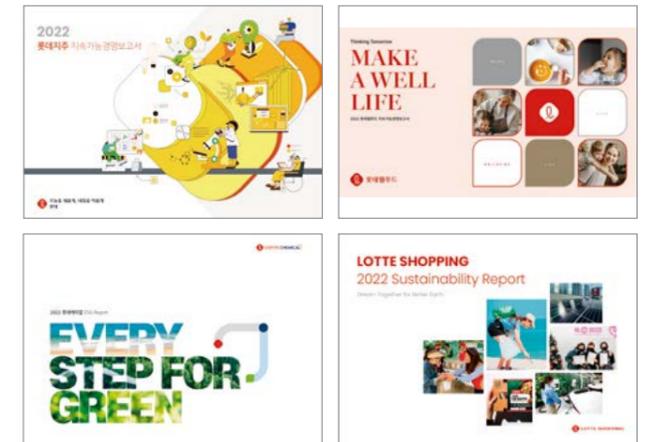
- ロッテ持株
- LOTTE Chemical
- ロッテ精密化学
- ロッテショッピング
- ロッテハイマート
- ロッティノバート
- ロッテウェルフード
- ロッテ七星飲料
- ロッテrental
- ロッテエナジーマテリアルズ

ESG経営戦略

ロッテグループは2021年に「ESG経営の宣言式」を開催し、ロッテの経営活動として長期的な価値を創出するESG経営を推進していくことを宣言しました。さらに、「2040炭素中立」の達成、上場企業の取締役会傘下のESG委員会を構成、グループ会社のCEO成果評価にESG管理成果を反映するなど、実質的かつ具体的なESG経営の推進計画を公表しました。

持続可能経営報告書

- ロッテ持株
- ロッテウェルフード
- LOTTE Chemical
- ロッテショッピング



ロッテグループコンプライアンス委員会

*2023年5月基準



支配構造

ロッテグループは健全で透明な支配構造こそ、持続可能な成長を成し遂げるための土台であり動力だという信念をもって、かねてから取締役会を中心とする先進の支配構造を構築しました。ロッテ持株を含むすべての上場企業が独立性、専門性、多様性を原則として取締役会を運営しており、透明経営、責任経営を実践しています。取締役会は様々な財務・非財務リスクと機会要因を把握して、企業経営の効率性と安定性を高め、株主をはじめとする利害関係者の権益増進と価値の向上に向けて努力しています。

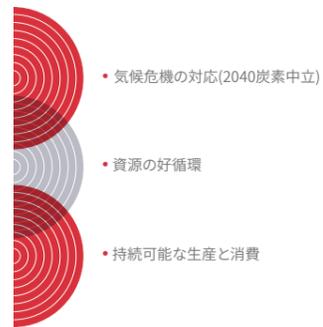
また、遵法・倫理経営を企業運営の基本とし、あらゆる企業活動で遵法・倫理経営を厳格に遵守するようにしています。「遵法経営憲章」、「ロッテ人の行動綱領」など、政策・規範を樹立すると共にCP(Compliance Program、公正取引自立遵守プログラム)の導入、倫理経営の教育や反腐敗の遵法誓約書の作成、相談・通報チャンネルの運営など、倫理経営活動を通じて遵法・倫理経営を会社全体に内在化しています。さらに、体系的な組織とシステムを備えて、統合リスク管理と情報セキュリティに注力し、持続可能な成長基盤をより一層確固たるものにしていきます。

19

ロッテグループ環境経営システム(ISO 14001) 認証系列会社数

*2023年基準

ロッテグループ環境配慮の重点領域



環境

ロッテグループは統合的な環境管理の体系を構築し、全事業領域で地球と人類の持続可能な未来に向けて環境経営を積極的に実践してきました。2021年には人類共通の課題である気候危機に対応するために「2040炭素中立」を公表し、環境にやさしいグリーン成長の意志を対外に明らかにしました。短期的には工程の効率化、グリーンエネルギー使用による温室効果ガスの排出削減に力を入れており、中長期的には革新技術を開発し、環境に配慮した事業を拡大していく計画です。



・ロッテショッピングESGキャンペーンブランド「リアース(RE:EARTH)」



・環境にやさしいラベルレスパッケージングアイス8.0 ECO



・「プロジェクトループ(LOOP)」エコ素材の運動靴

2022年6月
ロッテグループ
人権経営憲章
制定



ロッテグループ人権経営憲章は、会社のホームページにて確認することができます。

8,810

億ウォン
同伴成長ファンドの造成規模
*2023年基準

社会

ロッテグループは、人権を重視し多様性を尊重する企業文化を基に、構成員が仕事と生活のバランスを追求しながら成長できるよう支援します。そのため、公正な人事制度とグローバル人材育成システムの運営、働きやすい企業文化と安全な勤務環境づくりに取り組んでいます。2022年6月には「ロッテグループ人権経営憲章」を制定し、人権経営の定着と拡散にさらに力を入れています。また、パートナー社との同伴成長に向けて公正取引文化の確立と共生決済制度、同伴成長ファンドなど多様な共生支援制度を運営しており、スタートアップの発掘と創業生態系を活性化するための投資も拡大しています。



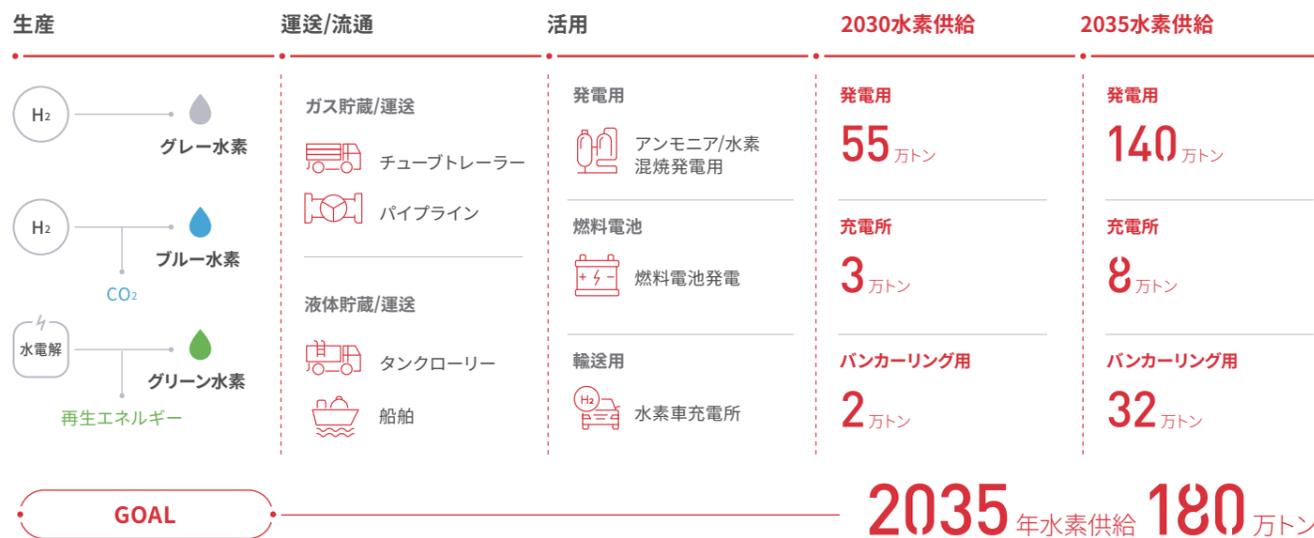
・momピョンハン (ママの気楽な)遊び場



・スーパーブルーマラソン



・青春本屋



CSVスローガン

心が心に
from heart to heart

CSV活動テーマ



女性と児童



愛国



キャンペーン



グローバル

Today,
We are imagining
new opportunities

ロッテは想像を超える情熱で
新しい今日を描いていきます。

ロッテは創造的な考えと緊密な協力を通じて、
これまでにない革新的な製品とサービスで
差別化された経験と価値を提供し、
皆様の今日をより新しくしていきます。



Tomorrow, We are achieving better lives for all

**ロッテは進取的な挑戦と革新で
皆のための明日をプレゼントします。**

ロッテは人類の幸せな生活を創造する
真の「Lifetime Value Creator」を夢見て
未来に向けた果敢な挑戦、新しい革新で
皆様の明日をより有益なものに変えて行きます。

